

まちづくり報告書

令和2年度
総合計画の進行管理



みどり市
マスコットキャラクター
みどモス

令和4年2月



— 目 次 —

1. まちづくり報告書の基本的考え方	1
(1) まちづくり報告書とは	1
(2) 総合計画と行政評価	1
(3) 行政評価による総合計画の進行管理	2
2. 令和2年度実績の評価	3
(1) 評価基準	3
(2) 政策別の目標達成状況	4
(3) 政策別のまちづくりの動き（対前年度動向）	5
3. 施策－基本事業の成果指標	6
・政策 01 健やかに生きる安心のまちづくり	7
・政策 02 人を育て文化をはぐくむまちづくり	22
・政策 03 安全で安心して生活できるまちづくり	34
・政策 04 潤いある快適なまちづくり	44
・政策 05 質の高い利便性あるまちづくり	48
・政策 06 にぎわいと活力あるまちづくり	53
・政策 07 市民と行政が協働してまちをつくる	61
・政策 08 自立した都市経営を実現する	67
・用語の解説	72
4. みどり市総合計画（前期基本計画）の体系	73

1. まちづくり報告書の基本的考え方

(1) まちづくり報告書とは

みどり市総合計画は、みどり市の進むべき方向と将来像を明確にしたまちづくりの指針となるもので、本市では、分野別にまちづくりの目標となる、市のめざす姿を設定しています。まちづくりの成果を把握することで、まちづくりがどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、市のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取組状況を市民の皆さんにお知らせするものです。

<みどり市総合計画（第2次）>

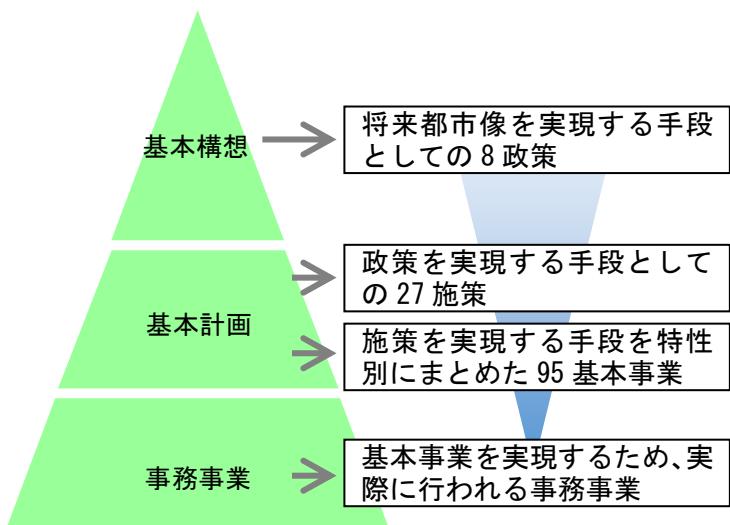


(2) 総合計画と行政評価

第2次みどり市総合計画（前期基本計画）

（※）では、将来都市像を「輝くひと　輝くみどり　豊かな生活創造都市」と定めています。この将来都市像を実現するために8つの政策を掲げ、政策の下には27の施策、95の基本事業を掲げています。さらに基本事業を実現するための具体的な手段としての事務事業が位置づけられ、施策体系を構成します。

また、本市では市民の視点に立った行政運営に取り組み、限られた行政資源のなかで成果重視の行政を目指す観点から、行政評価システムを導入し、将来都市像の実現に向けた取組の進捗状況を管理しています。

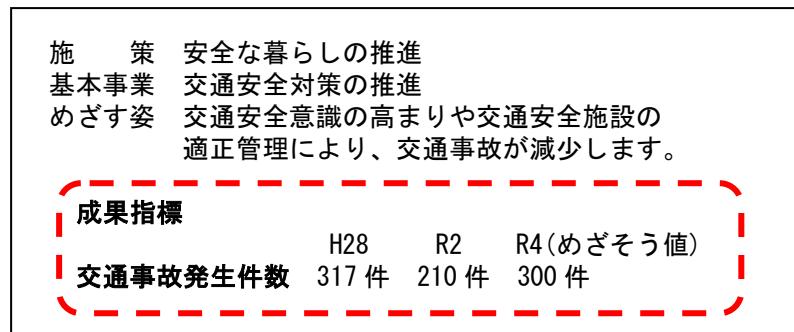


※ 平成 30 年度からは第2次みどり市総合計画がスタートしています。

(3) 行政評価による総合計画の進行管理

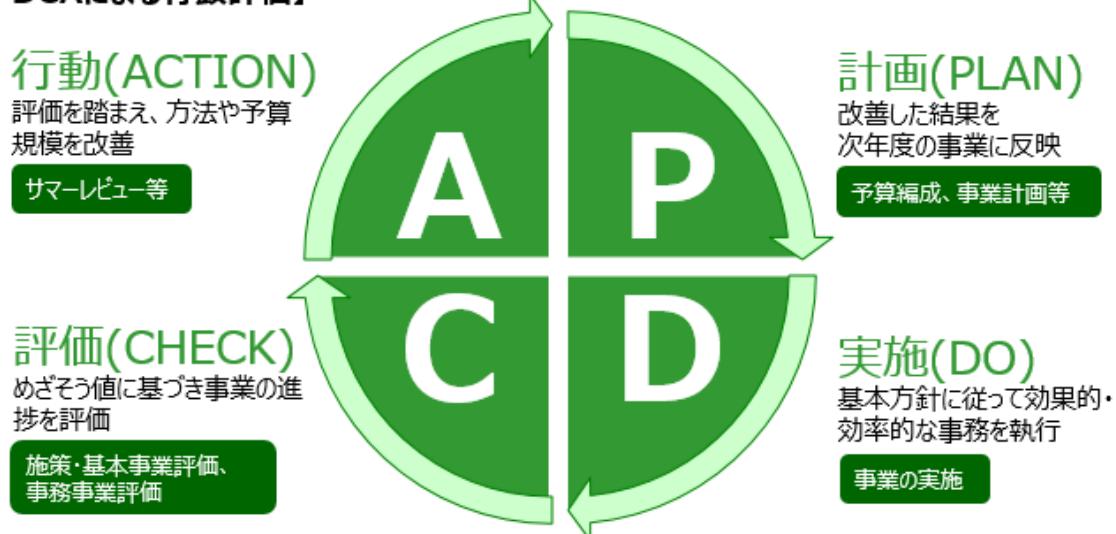
本市では、施策・基本事業に各分野のまちづくりの「めざす姿」の達成状況をあらわすモノサシとして「成果指標」を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行えるようになりました。

評価の結果は、市の意思決定の判断材料として活用し、計画(PLAN)、実施(DO)、評価(CHECK)、行動(ACTION)というPDCAのマネジメントサイクルを構築しています。



施策ごとに、何を目指すかを分かりやすい指標(モノサシ)を設定し、ねらいの明確化と進捗状況の評価を行い、まちづくりの達成状況を市民・職員で共有する。

【PDCAによる行政評価】



2. 令和2年度実績の評価

(1) 評価基準

第2次みどり市総合計画の施策体系にあわせ、施策に設定した38の成果指標、基本事業に設定した167の成果指標を、前期基本計画の最終年度である令和4年度の目標値に対する「目標達成度」及び「対前年度」により評価を行っています。「目標達成度」及び「対前年度」については、次の基準で一律に評価しています。

◆目標達成度(以下の5段階で表しています)

- ① 達成 = 実績値(R02) が 目標値(R04)を達成している。
- ② 高 = 実績値(R02) が 基準値(H28)から目標値(R04)の 70%以上、100%未満の達成度
- ③ 中 = 実績値(R02) が 基準値(H28)から目標値(R04)の 30%以上、70%未満の達成度
- ④ 低 = 実績値(R02) が 基準値(H28)から目標値(R04)の 0%以上、30%未満の達成度
- ⑤ 基準値を下回る = 実績値(R02) が 基準値(H28)を下回っている。

例) 基準値が50件、実績値が70件、目標値が80件の場合、

$20 \text{ 件} \div 30 \text{ 件} = 66.6\%$ となり、目標達成度を「中」としています。

※20件 = 基準値と実績値との差 (70-50)

※30件 = 基準値と目標値との差 (80-50)

◆対前年度(以下の3段階で表しています)

- ① 順調 = 実績値(R02) が 前年度実績値と比較して5%以上向上
- ② 横ばい = 実績値(R02) が 前年度実績値と比較して5%未満の向上又は低下
- ③ 不調 = 実績値(R02) が 前年度実績値と比較して5%以上低下

※施策の指標のうち「実質赤字比率」等3指標は、「健全」か否かによる評価を行っているため、対前年度伸び率による評価は比較不能となっています。

※基本事業の指標のうち、7指標は「福祉医療受給資格者数」など社会情勢等の変化による影響が指標値の増減に大きく影響すると考えられ、数値の向上や低下を目標としない指標であるため、数値の増減による評価は行っていません。また、「新型コロナウイルス感染症の影響により、「群馬県児童生徒の体力・運動能力調査」で体力優良証をもらえる児童生徒割合」は、指標が取得できなかつたため、比較不能となっています。

(2) 政策別の目標達成状況

①施策の成果指標達成度 (27 施策 38 成果指標)

政策		達成 	高 (70%以上) 	中 (30~70%) 	低 (30%未満) 	基準値を下回る 	比較不能
01	健やかに生きる 安心のまちづくり	2	0	1	0	3	0
02	人を育て、文化を はぐくむまちづくり	1	0	0	2	3	0
03	安全で安心して生活 できるまちづくり	3	0	1	1	0	0
04	潤いある快適な まちづくり	0	0	1	0	3	0
05	質の高い・利便性ある まちづくり	3	0	1	0	0	0
06	にぎわいと活力ある まちづくり	3	0	0	0	2	0
07	市民と行政が協働して まちをつくる	1	0	0	0	1	0
08	自立した都市経営を 実現する	4	0	1	0	0	0
小計		17	0	5	3	13	0

②基本事業の成果指標達成度 (95 基本事業 167 成果指標)

政策		達成 	高 (70%以上) 	中 (30~70%) 	低 (30%未満) 	基準値を下回る 	比較不能
01	健やかに生きる 安心のまちづくり	10	3	2	6	12	5
02	人を育て、文化を はぐくむまちづくり	10	2	2	2	18	1
03	安全で安心して生活 できるまちづくり	12	1	0	5	11	0
04	潤いある快適な まちづくり	3	0	2	0	3	0
05	質の高い・利便性ある まちづくり	3	1	1	4	3	0
06	にぎわいと活力ある まちづくり	6	0	1	4	10	0
07	市民と行政が協働して まちをつくる	5	0	0	0	6	2
08	自立した都市経営を 実現する	7	2	1	0	1	0
小計		56	9	9	21	64	8

(3) 政策別のまちづくりの動き（対前年度動向）

①施策の成果指標の動き（27 施策 38 成果指標）

政策		順調	横ばい	不調	比較不能
01	健やかに生きる 安心のまちづくり	0	6	0	0
02	人を育て、文化を はぐくむまちづくり	0	5	1	0
03	安全で安心して生活 できるまちづくり	0	3	2	0
04	潤いある快適な まちづくり	0	3	1	0
05	質の高い・利便性ある まちづくり	1	2	1	0
06	にぎわいと活力ある まちづくり	1	3	1	0
07	市民と行政が協働して まちをつくる	1	2	0	0
08	自立した都市経営を 実現する	0	2	0	3
小計		3	26	6	3

②基本事業の成果指標の動き（95 基本事業 167 成果指標）

政策		順調	横ばい	不調	比較不能
01	健やかに生きる 安心のまちづくり	9	16	8	5
02	人を育て、文化を はぐくむまちづくり	2	13	19	1
03	安全で安心して生活 できるまちづくり	7	17	5	0
04	潤いある快適な まちづくり	2	4	2	0
05	質の高い・利便性ある まちづくり	1	9	2	0
06	にぎわいと活力ある まちづくり	2	11	8	0
07	市民と行政が協働して まちをつくる	0	6	5	2
08	自立した都市経営を 実現する	2	7	2	0
小計		25	83	51	8

3. 施策－基本事業別の成果指標

第2次みどり市総合計画〈前期基本計画〉は、平成30年度～令和4年度の5年間を計画期間として、各年度における成果指標を取得し計画の進捗状況を把握しながら、まちづくりを推進してまいりました。

この度、前期基本計画の3年度目にあたる令和2年度の各施策の取組状況や成果指標（施策・基本事業）の推移などから評価を行いました。

＜8 基本政策－27 施策＞

(1) 健やかに生きる安心のまちづくり 1-1 健康づくりの推進 1-2 地域福祉の充実 1-3 高齢者福祉の充実 1-4 障がい者福祉の充実 1-5 子育て支援の充実 1-6 社会保障の充実 (2) 人を育て文化をはぐくむまちづくり 2-1 生涯学習の推進 2-2 教育の充実 2-3 文化財の保護と活用 2-4 市民スポーツの充実 (3) 安全で安心して生活できるまちづくり 3-1 生活環境の向上 3-2 自然環境の保全 3-3 安全な暮らしの推進 3-4 防災・減災対策の推進 (4) 潤いある快適なまちづくり 4-1 水道水の安定供給と汚水処理の推進 4-2 公共交通の充実	(5) 質の高い利便性あるまちづくり 5-1 特色あるまちづくりの推進 5-2 道路の整備と浸水対策の推進 5-3 住宅・土地の利活用促進 (6) にぎわいと活力あるまちづくり 6-1 農林業の振興 6-2 商工業の振興 6-3 魅力ある観光地づくり (7) 市民と行政が協働してまちをつくる 7-1 市民活動の推進 7-2 人権尊重の推進 7-3 開かれた市政の推進と効果的な情報発信 (8) 自立した都市経営を実現する 8-1 健全な行政運営 8-2 持続可能な財政運営
---	---

注：社会情勢等の変化による影響が、指標値の増減に大きく影響すると考える指標は「その他の指標」としており、対前年度の欄を記載しておりません。

政策01 健やかに生きる安心のまちづくり

施策01 健康づくりの推進

主管課 健康管理課

関係課 市民課

■ 施策の成果状況

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	健康だと思う人の割合						
	【健康管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	78%	76.1%	79.3%	77.8%			85%

評価

状況：令和元年度に比べ1.5ポイント減少しました。
原因：「健康な方だと思う」と回答した人が減少し、「あまり健康でない」と回答した人が増加しています。新型コロナウイルス感染症の増加による健康への不安や自粛生活による社会活動や運動の機会の減少が影響していると思われます。
余地：今後も健康に関する情報の周知に努め、継続的に支援を行うことで成果向上の余地はあると考えます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 成人保健の充実

目標達成度 低

成 果 指 標	健康のために実践している平均項目数						
	【健康管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	4.7項目	4.7項目	4.8項目	4.8項目			7項目

評価

状況：令和元年度とほぼ変わりなく、横ばいです。
原因：市民アンケートの結果、50%以上の人人が「朝食を毎日とる」、「年に1回は健診（検診）を受けている」、「たばこを吸わない」、「適正な睡眠時間」を実践していると回答しているもののその割合は横ばいまたは減少傾向となっています。「間食をしない」「週1回60分以上又は週2回30分以上の運動」を実践している人は30%以下となっています。
余地：健康増進支援事業のポイント制度がスタートし、参加者からは高評価をいただいています。今後の事業充実により無理のない運動習慣の獲得や、自分の身体や健康に关心を持つきっかけとして成果が向上する余地はあると考えます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	成人を対象とする各種検診（健診）の受診率						
	【健康管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	35.5%	27%	24.8%	10.6%			38%

評価

状況：新型コロナウイルス感染症の影響もあり、検診受診率は大きく減少しています。令和元年度と比べて検診を受けた実人数も40%近く減少しています。市民アンケートの結果でも「年に1回は健診（検診）を受けている」と回答した人は、令和元年度に比べて3.2ポイント減少しています。
原因：がん検診や特定健診の受診率は横ばいから減少傾向で「受けるのが面倒」、「時間がない」、「医療機関にかかっている」、「会場が混む」などの理由から健康診断を受けない人が多いことや人間ドックや勤務先での事業所健診（検診）など受診先の選択の幅が拡がっていることが影響していると考えられます。加えて、令和2年度は新型コロナウイルス感染症への不安などによる受診控えも要因となっていると思われます。
余地：感染症対策の徹底と周知、ワクチン接種の拡充などによって不安が解消され、成果が向上する余地があると考えます。

注釈：

成 果 指 標	要精密検査者の精密検査受診率						
	【健康管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	92.8%	88.1%	89.9%	89.8%			95%

状況：令和元年度と比べて0.1ポイント減少で横ばいの状況です。
原因：精密検査受診率は子宮頸がん・肺がん検診は100%、乳がん検診は98.4%と高い受診率となっています。大腸がん検診の精密検査受診率は66.7%で、令和元年度に比べて11.4ポイント減少しています。精密検査を受けない理由としては、多忙や検査への不安、大丈夫だという自己判断や思い込み、さらには新型コロナウイルス感染症への不安による受診控えが考えられます。
余地：一次検診時に精密検査の方法や必要性等を周知するとともに、精密検査が必要となった人への受診勧奨や再勧奨、受診しない理由の把握等により、成果の余地はあると考えます。

注釈：

■ 基本事業02 母子保健の充実

成 果 指 標	育児力をもっている保護者の割合						
	【健康管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	65.2%	62.8%	69.8%	67.8%			68%

状況：育児力は前年と比較し2.0ポイント下がっています。
原因：新型コロナウイルス感染症の蔓延により生活リズムに変化があったことも一つの要因と考えられます。
余地：継続的な健康、育児情報を発信することで向上の余地はあると考えます。

注釈：指標は1歳6ヶ月児健診、3歳児健診時のアンケート結果による。

成 果 指 標	健診(1歳6か月児・3歳児)受診率						
	【健康管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	95.2%	97.6%	96.3%	98.1%			98%

状況：健診の受診率は前年度と比較し1.8ポイント上がっており、前期目標の98%を達成しています。
原因：健診通知を母子保健推進員が配布して受診勧奨を行なっている等周知についても工夫をしています。
余地：今後も受診啓発に努めますが、目標値を達成しているため向上の余地は小さいです。

注釈：

■ 基本事業03 地域医療の充実

目標達成度

低

成 果 指 標	かかりつけ医(内科・外科等の医療機関)を持つ市民の割合						
	【健康管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	74.5%	71.4%	75.9%	75.8%			80%

注釈: 指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度

達成

成 果 指 標	かかりつけ医(歯科)を持つ市民の割合						
	【健康管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	77.7%	67.9%	71.3%	80.7%			80%

注釈: 指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

政策01 健やかに生きる安心のまちづくり

施策02 地域福祉の充実

主管課 社会福祉課

関係課 介護高齢課

■ 施策の成果状況

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	地域で支え合っていると思う市民の割合							【社会福祉課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	63.2%	60.5%	62%	61.9%			68%	

評価

状況：令和元年度より0.1ポイント減少しました。
原因：増加、減少が年代で半数ずつだったため、横ばいの結果となりました。
余地：地域活動促進の取り組みにより指数値は上がる余地があるため、長期的な取り組みが必要と思われます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 地域福祉意識の醸成と担い手支援

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	地域の福祉活動に参加している市民の割合							【社会福祉課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下		
基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	22%	24.6%	24.7%	21.4%			25%	

評価

状況：令和元年度と比較して3.3ポイント低下しました。
原因：20～29歳、50～59歳、70～74歳の年代で昨年度より増加しましたが、それ以外の年代の減少があり、若干減少ししました。
余地：今後参加してみたいと回答した人の割合が45.3%となっているため、さらなる成果向上の余地はあります。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	福祉の担い手・団体数							【社会福祉課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下		
基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	42団体	46団体	35団体	28団体			48団体	

評価

状況：ボランティア登録については団体登録が23、個人登録が5の合計28団体となっています。
原因：前年度対比で、団体の登録数37.5%、個人の登録数14.8%減少したことが原因です。
余地：団体、個人ともに減少しているため、ボランティアグループの啓発や個人向けに仲間作りの支援を行うことにより、今後も増加する余地はあります。

注釈：

成 果 指 標	福祉活動の担い手醸成のための取組数						
	【社会福祉課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	62事業	63事業	63事業	0事業			65事業
評 価	状況：新型コロナウイルスの影響で、すべて中止になりました。 原因：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、計画した講座すべてが中止になったためです。 余地：感染防止策を含めた事業実施方法を検討することで、指標向上の余地はあると考えます。						

注釈：

■ 基本事業02 地域福祉活動の活発化

成 果 指 標	各行政区で展開している地域福祉事業数						
	【社会福祉課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	127事業	139事業	115事業	38事業			135事業
評 価	状況：各地区の事業が、新型コロナウイルスの影響を受け、中止が多く、実施数が減った状況です。 原因：例年通り事業計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止にした事業が多かった事が原因です。 余地：感染防止策を含めた事業実施方法の検討することで、指標向上の余地はあると考えます。						

注釈：

政策01 健やかに生きる安心のまちづくり

施策03 高齢者福祉の充実

主管課 介護高齢課

関係課 社会福祉課

■ 施策の成果状況

高齢者の自立割合							
成 果 指 標	【介護高齢課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	81.8%	81.9%	82.1%	82.1%			82.3%
評 価	状況：割合は対前年度と同ポイントで横ばいです。高齢者数が増えていく中で、要介護認定者数も今後増えていくと思われるため、目標の達成は依然として難しい状況です。 原因：65歳以上の高齢者数は対前年度175名ほど増加し、要介護認定者数が対前年度35名増なっていることが要因となっています。 余地：介護予防を推進していくことにより、自立割合を少しでも維持できるよう努めています。						

注釈:

在宅生活をし続けている要介護1～3の高齢者の割合							
成 果 指 標	【介護高齢課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	86.3%	86.9%	87.5%	87.6%			87.2%
評 価	状況：対前年度比0.1ポイント向上しています。施設入所者数はほぼ同数ですが、要介護1～3の第1号被保険者数が増加しています。 原因：施設入所者数が変わらず、要介護1～3の被保険者数が増加したことにより、結果として在宅高齢者の割合が増加したためです。 余地：ここ数年施設入所者数は大きく伸びていませんが、今後後期高齢者数が増えていくことから、在宅高齢者がどうなるかは未知数です。						

注釈:

■ 基本事業01 総合的な介護予防体制の充実

一般介護予防事業(介護予防教室等)参加者数							
成 果 指 標	【介護高齢課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	3,536人	3,232人	3,098人	115人			4,400人
評 価	状況：前年度と比較して2,983人減少しました。 原因：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんど事業を実施することができませんでした。 余地：警戒度の低下や高齢者のワクチン接種が進むことにより事業を再開することで参加者の増加が期待できます。						

注釈:

目標達成度 高

成 果 指 標	介護予防に取り組んでいる高齢者割合						
	【介護高齢課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	55.8%	56.1%	61.7%	65.9%			70%
評 価	状況：前年度と比較して4.2ポイント増加し、順調に推移しています。 原因：介護予防教室や地域の通いの場等で行う啓発活動により、運動機能向上や食生活の改善に関して広く周知されてきたことが要因であると考えます。 余地：介護予防教室等の取り組みだけでなく、就労や社会参加などによる生きがい対策を充実することで、効果が期待できます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 (未設定)

成 果 指 標	新規要支援・要介護者の割合						
	【介護高齢課】						
	指標特性	その他			対前年度	---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	3.02%	3.52%	3.29%	3.5%			4.8%
評 価	状況：前年度比0.21ポイント増加しています。 原因：65歳以上の高齢者数は増加しており、新規要支援・要介護申請者数も前年度と比較し増加傾向であり、結果として新規要支援・要介護者の割合が増加したものです。 余地：市内には介護が必要な人で、介護申請していない人もいると思われるため、今後の急激に新規申請が増えることも想定されます。						

注釈：

■ 基本事業02 自立した生活の支援体制の充実

目標達成度 (未設定)

成 果 指 標	在宅福祉サービス延べ利用者数						
	【介護高齢課】						
	指標特性	その他			対前年度	---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	1,299人	1,400人	1,337人	1,137人			1,350人
評 価	状況：前年度に比べ200人減少しました。 原因：独居高齢者や高齢者のみ世帯は増加し、サービス利用の周知も図られておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響及び配食サービスが減少したことが要因と考えられます。 余地：引き続きサービスについての周知を図ることで、成果向上の余地はあると考えます。						

注釈：

■ 基本事業03 社会参加と生きがい活動の推進

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	生きがいを持っている高齢者割合						
	【介護高齢課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	82.5%	80.9%	81.2%	79.6%			90%
評 価	状況：前年度より1.6ポイント減少し低下しました。 原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、地域活動（ボランティア等）や就業の場などの提供、周知が不足していたことが要因であると考えます。 余地：コロナ禍において、地域活動や就業促進の普及啓発を工夫し行うことで、社会参加による生きがいを持った高齢者の増加が期待できます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■基本事業04 地域に根ざした介護体制の確立

成 果 指 標	目標達成度 (未設定)						
	【介護高齢課】						
	指標特性	その他			対前年度	---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評価	65.1%	66.2%	66.9%	67.63%			67.1%
注釈:	状況: 対前年度0.73ポイントの増加です。 原因: 地域包括ケアの推進もあり、在宅による高齢者介護が浸透してきたものと思われます。 余地: 施設給付は変わらず給付が伸びていないことから、引き続き在宅介護が増加していくものと思われます。						

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	【介護高齢課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評価	38人	31人	30人	23人			27人
注釈:	状況: 対前年度比7名の減です。 原因: 有料老人ホーム等高齢者住宅が増加しているためと思われます。 余地: 待機者数は少數であり、施設による受け入れ態勢も整っていることから、減少が見込めます。						

■基本事業05 健全・公平な介護保険事業の運営

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	【介護高齢課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評価	98.8%	99.1%	99.2%	99.2%			98.9%
注釈:	状況: 前年度から横ばいとなっています。 原因: 特別徴収による収納割合が93%を占め、安定した収納が見込んでいるためです。 余地: 年金からの特別徴収により、引き続き安定した収入が見込めます。						

政策01 健やかに生きる安心のまちづくり

施策04 障がい者福祉の充実

主管課 社会福祉課

関係課 こども課、健康管理課

■ 施策の成果状況

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	在宅生活している65歳未満の障がい者割合							【社会福祉課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	95.3%	93.2%	93%	93.2%			96.2%		
評価	状況：65歳未満の障がいを持つ人が1,643人でそのうち施設などで生活する人は112人です。 原因：令和元年度に比べると施設入所者は3人減り、グループホームは1人増えています。 余地：障害福祉サービスの充実や相談支援体制の強化により、指標の向上の余地はあります。								

注釈：

■ 基本事業01 障がい者福祉サービスの充実

目標達成度 中

成 果 指 標	企業の障がい者雇用率							【社会福祉課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	1.61%	2.09%	1.84%	2.01%			2.2%		
評価	状況：障がい者雇用率は昨年度と比べて0.17ポイント増加している状態です。市内の対象企業39社のうち、27社が障がい者雇用を行っています。 原因：雇用企業は6社増えています。 余地：障がい者雇用の理解の促進や障がい者の就労支援等を通し、雇用の拡大に努めることで成果向上の余地はあると考えます。								

注釈：

目標達成度 中

成 果 指 標	自立支援給付を利用して地域生活している人数							【社会福祉課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	357人	401人	410人	438人			540人		
評価	状況：令和元年度と比べて28人増加しています。自立支援給付を受ける人が少しづつ増えています。 原因：相談支援事業所等の関係機関が障がいを持つ方へ必要なサービスの周知や提供につなげている結果だと考えられます。 余地：障がい福祉サービスの周知や啓発に努め、さらなる利用の拡大に努めることで成果向上の余地はあると考えます。								

注釈：

成 果 指 標	目標達成度 低						
	外出や交流などコミュニケーションの場への参加者数 【社会福祉課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	8,319人	8,585人	8,717人	8,418人			9,200人
評 価	状況：外出や交流などコミュニケーションの場への参加者数は令和元年度と比べて299人減少しています。 原因：新型コロナウイルスの影響により、外出を自粛する傾向があったことが要因と考えられます。 余地：コロナの状況が落ち着けば、成果向上の余地はあると考えます。						

注釈：

■ 基本事業02 児童発達支援サービスの充実

成 果 指 標	目標達成度 (未設定)						
	こども支援部会でライフステージを踏まえた継続的連携支援を行っている人数 【社会福祉課】						
	指標特性		その他			対前年度	---
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	387人	472人	312人	209人			500人
評 価	状況：こども支援部会で報告する発達障がい児に関する相談件数は令和元年度と比べて103件減っています。 原因：件数の減少理由として、令和元年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により、部会を開催できなかったり、時間を短縮して開催したことが理由として挙げられます。 余地：コロナの状況が落ち着き、定期的なこども支援部会の開催ができれば、成果向上の余地はあると考えます。						

注釈：

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	児童発達支援等の療育サービスを受けている子ど�数 【社会福祉課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	向上
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	3,922人	9,533人	11,806人	14,105人			9,200人
評 価	状況：療育サービスを受ける数は令和元年度から比べて2,299件増加しています。 原因：障がい児通所支援サービスのうち、放課後等デイサービスの利用が増えています。市内には4事業所あり、近隣の桐生市や伊勢崎市の事業所を利用している人もいます。令和2年度末の放課後デイサービス利用決定者数は70人です。 余地：目標は達成していますが、障害福祉サービスが必要な児に適切なサービスの提供ができるよう成果の向上に努めます。						

注釈：

政策01 健やかに生きる安心のまちづくり

施策05 子育て支援の充実

主管課 こども課

関係課 市民課、健康管理課、学校教育課

■ 施策の成果状況

子育てしやすいまち(環境)だと思う保護者の割合								目標達成度	達成
成 果 指 標	【こども課】								
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	75.8%	83.6%	84.1%	85.8%					85%
評価	状況：前年度から1.7ポイント向上し、目標値を達成できました。 原因：市民アンケートの記述回答では、公園や道路、公共施設など、社会資本の整備等を望む声が多く、市民が「子育てのしやすさ」をより実感できるよう、市の施策全体で取り組む必要があります。 余地：成果向上の余地はあり、継続的な取り組みが必要です。								

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 保育サービスと施設の充実

保育施設の待機児童数								目標達成度	達成
成 果 指 標	【こども課】								
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	0人	0人	0人	0人					0人
評価	状況：引き続き0人となり、順調な状況です。 原因：児童数が年々減少し、4／1時点では入所申し込みがあった児童を全て受け入れできている状況です。 余地：既に目標値を達成しており、成果向上の余地はありません。								

注釈：

保育に満足している保護者の割合								目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	【こども課】								
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	95.3%	91.3%	88.6%	94.7%					97%
評価	状況：前年度から6.1ポイント向上しましたが、目標値を達成できませんでした。 原因：年によって各保育施設の満足度が上下するため、安定して満足度が得られるよう、改善を試みる必要があります。 余地：成果向上の余地はあり、継続的な取り組みが求められます。								

注釈：指標は市内保育施設に通う児童を持つ保護者アンケートの結果による。

成 果 指 標	施設の不具合件数							【こども課】	
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	0件	0件	0件	0件			0件		
評 価	状況：不具合件数が0件で、問題が発生していない状況です。 原因：老朽化した施設も多いですが、改修・修繕が必要な施設は随時対応しており、保育に支障のある不具合は発生しませんでした。 余地：計画的な維持管理を行っていくことで、現状の成果を維持することが重要です。								

注釈：

■ 基本事業02 子育てに関する不安の軽減

成 果 指 標	子育ての不安を持つ保護者の割合							【こども課】	
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	向上			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	27.3%	33.1%	30.2%	26.7%			20%		
評 価	状況：前年度から3.5ポイント向上しましたが、目標値を達成できませんでした。 原因：市民アンケート結果から、子育てへの親の負担感が不安となっているため、解消できるよう、子育て施策全体で取り組む必要があります。 余地：成果向上の余地はあり、継続的な取り組みが求められます。								

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

成 果 指 標	学童保育施設の待機児童数							【こども課】	
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	0人	0人	0人	0人			0人		
評 価	状況：引き続き0人であり、順調な状況です。 原因：児童数が年々減少し、4/1時点では入所申し込みがあった児童を全て受け入れできている状況です。 余地：既に目標値を達成しており、成果向上の余地はありません。								

注釈：

■基本事業03 地域における子育て支援の充実

							目標達成度	低
成 果 指 標	地域における子育て支援事業への協力者数							【こども課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	196人	233人	217人	196人				230人
評 価	状況：前年度から21人低下し、目標値を達成できませんでした。 原因：コロナ禍により、指標の基礎となる子育て講座の開催が半減し、ファミリーサポートセンターの会員登録も減少したためです。 余地：受講者や登録者を指標としており、積極的な講座の開催や事業の周知により、成果向上の余地はあります。							

注釈:

							目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	地域における子育て支援施設利用者数							【こども課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	22,179人	20,573人	16,549人	10,669人				25,000人
評 価	状況：延利用者数は、地域子育て支援センターが減少し、多世代交流館(旧子育て応援施設)が増加しました。 原因：両施設ともコロナ禍により利用自粛したためです。多世代交流館は、令和元年度の半年間は工事で休館していましたため、このような状況下でも前年度と比べ、増加しています。 余地：利用自粛がなければ、成果向上の余地はあります。							

注釈:

政策01 健やかに生きる安心のまちづくり

施策06 社会保障制度による生活支援

主管課 市民課

関係課 社会福祉課

■基本事業01 国民健康保険制度の安定運営

目標達成度 基準値を下回る

被保険者一人あたりの医療費(国民健康保険)						
成 果 指 標	【市民課】					
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)
	286,611円	299,119円	312,461円	310,936円		286,000円
評 価	状況：令和元年度より国民健康保険被保険者数が206人減少し、1人あたりの医療費も減少しています。 原因：新型コロナウイルス感染症により、医療機関への受診控えによる要因が考えられます。 余地：一時的な医療費の減少であると考えられますが、今後は増加となる可能性もあるため、特定健診の受診率を向上させ、検査結果の悪い市民に対して効果的な保健指導を行うことにより、重症化を防ぎ、医療費を抑制する余地はあります。					

注釈:

目標達成度 達成

国民健康保険保険税収納率(現年度)						
成 果 指 標	【市民課】					
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)
	93.2%	93.29%	93.3%	94.25%		94%
評 価	状況：令和元年度は93.30%、令和2年度は94.25%と0.95ポイント上昇しました。 原因：納付への理解をいただけていることや適切な収納対策が行われているためです。 余地：納税課と連携を強化し、収納率の向上を目指します。					

注釈:

■基本事業02 後期高齢者医療の健全化

目標達成度 高

被保険者一人当たりの医療費(後期高齢者医療)						
成 果 指 標	【市民課】					
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)
	796,003円	765,067円	775,415円	789,591円		788,000円
評 価	状況：1人あたりの医療費は前年度に比べ約1.8ポイント増加しましたが、ほぼ横ばいです。 原因：被保険者の高齢化や医療の高度化に伴い医療費は増加傾向にあります。 余地：各種検診等の推進により重症化を防ぎ、今後も医療費を抑制することに努めますが、一人当たりの医療費は増減を繰り返しながら横ばいとなっており、成果向上の余地は小さいです。					

注釈:

目標達成度 **達成**

成 果 指 標	後期高齢者医療保険料収納率(現年度)						
	【市民課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	99.4%	99.6%	99.6%	99.7%			99.5%

状況：前年度に比べ0.1ポイント向上しております。
 原因：納付への理解をいただけていることと適切な収納対策が行われているためです。
 余地：口座振替の推進、電話や戸別訪問をさらに強化し自主納付を促しますが、目標値を達成しているため成果向上の余地は小さいです。

注釈：

■基本事業03 福祉医療の充実

目標達成度 **(未設定)**

成 果 指 標	福祉医療受給資格者数						
	【市民課】						
	指標特性	その他			対前年度	---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	9,471人	8,915人	8,664人	8,458人			8,900人

状況：福祉医療受給者数は206人減少し、毎年減少傾向にあります。
 原因：受給者数の減少は子どもの減少が主な要因で、少子化に伴い対象となる子どもの人数も減少傾向にあると思われます。
 余地：少子化による人口減少や異動などの影響を受けることから、成果向上の余地は小さいです。

注釈：

■基本事業04 生活困窮者への自立支援

目標達成度 **基準値を下回る**

成 果 指 標	自立支援プランで改善が見られた終了者数						
	【社会福祉課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	7人	0人	0人	0人			10人

状況：令和2年度のプラン作成件数は0件で、改善が見られたことによる終了者数は0件となっています。
 原因：新型コロナウィルス感染拡大の影響により支援調整会議の開催ができず、プランの提案ができなかったことが原因です。
 余地：支援調整会議の開催形式・内容の見直しにより、成果向上の余地があります。

注釈：

■基本事業05 生活保護と自立支援

目標達成度 **低**

成 果 指 標	就労可能世帯における自立世帯数						
	【社会福祉課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	4世帯	3世帯	3世帯	5世帯			10世帯

状況：本年度実績5件であり、前年度より2件増加しました。
 原因：ケースワーカー及び就労支援員による支援により、就労に結びつきました。
 余地：引き続きケースワーカー及び就労支援員による支援を行いますが、基準値 (H28) を上回っているため、成果向上の余地は小さいです。

注釈：

政策02 人を育て文化をはぐくまちづくり

施策01 生涯学習の推進

主管課 社会教育課

関係課 教育総務課、学校計画課、文化財課、富弘美術館

■ 施策の成果状況

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	生涯学習に取り組んでいる市民の割合							【社会教育課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	31.6%	30.6%	30.3%	25.9%			40%		
評価	状況：01年度に比べ4.4ポイント減少しています。 原因：02年度大きく変化したのは、55歳以上の割合です。コロナ禍における事業の中止等の影響と考えられます。 余地：コロナ収束後に、数値の改善は見込めるため、向上の余地は十分にあります。								

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり

目標達成度 中

成 果 指 標	生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合							【社会教育課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	89.2%	87.3%	90.2%	89.6%			90%		
評価	状況：01年度に比べ0.6ポイント減少し、目標値を若干下回りました。 原因：コロナ禍における各種事業の中止等の影響と考えられます。 余地：各種事業が通常どおりに開催され、引き続き事業等の周知について工夫しながら取り組むことで、向上の余地は小さいがあります。								

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	小中学生の月間読書冊数							【社会教育課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	2.2冊／月	2.2冊／月	2.1冊／月	1.3冊／月			3冊／月		
評価	状況：元年度に比べ大幅に減少しています。 原因：年度当初、新型コロナ感染防止のため図書館の臨時休館があり図書館利用が減少したのが要因です。 余地：図書館の利用促進を行うことにより向上することが考えられます。								

注釈：

成 果 指 標	市内での文化芸術鑑賞者数						
	【社会教育課】			指標特性 上がると良い指標			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	164,286人	157,685人	151,131人	47,610人			180,000人
評 価	状況：R01年度に比べると103,521人減少しています。 原因：当該年度は、コロナ禍での状況下であり、休館等の影響で通常の運営ができなかったことが主な要因です。 余地：新型コロナの影響に左右されますが、コロナ禍での対応や新たな取り組み等を検討し、利用促進を図ることにより、向上する余地はあります。						

注釈：

成 果 指 標	社会教育施設の学級・講座延べ参加者数						
	【社会教育課】			指標特性 上がると良い指標			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	20,966人	24,862人	21,709人	2,887人			22,000人
評 価	状況：01年度に比べ18,822人減少しています。 原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各公民館において多くの学級・講座が中止となった影響によるものです。 余地：新型コロナウイルス感染症の影響が減ることにより、学級・講座の実施が可能となることから向上の余地は大きい。						

注釈：

■ 基本事業02 主体的な学習の推進

成 果 指 標	育成・支援された活動団体数						
	【社会教育課】			指標特性 上がると良い指標			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	6団体	11団体	9団体	16団体			20団体
評 価	状況：笠懸公民館では12団体、多世代交流館では2団体、往来センターでは2団体の計14団体が誕生しました。 原因：体操や卓球などのスポーツ系や料理教室など多岐にわたってのサークル活動が増加したものです。 余地：コロナ禍において、公民館活動等が自粛されている中ですが、傾向としては向上の余地は小さいです。						

注釈：

成 果 指 標	自主学習グループ数						
	【社会教育課】			指標特性 上がると良い指標			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	378団体	353団体	335団体	308団体			400団体
評 価	状況：01年度に比べ27団体減少しました。 原因：笠懸公民館、大間々図書館における利用登録団体数が減少したものです。新型コロナ感染拡大の影響による利用制限等によるものと考えられます。 余地：各施設の休館や利用制限等が緩和されれば、向上の余地はあります。						

注釈：

目標達成度 **基準値を下回る**

成 果 指 標	生涯学習の大会、まつり、イベント延べ参加者数						
	【社会教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	32,707人	30,944人	30,879人	376人			33,000人
評 価	状況：01年度に比べ30,503人減少しています。 原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設の休館や人の集まるイベント（講演会、まつり等）の中止の影響が原因です。 余地：新型コロナウイルス感染症が収束に向かえば、数値が回復することは十分にあり、向上の余地は大きいです。						

注釈：

■ 基本事業03 生涯学習を支える体制や場の提供

目標達成度 **基準値を下回る**

成 果 指 標	社会教育・文化施設年間延べ利用者数						
	【社会教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	577,124人	533,811人	485,044人	215,358人			580,000人
評 価	状況：01年度と比べると269,686人減少しています。 原因：ほとんどの施設において、前年度を大きく下回る結果となったことが主な原因です。その中でも、2年目となった多世代交流館においては、利用者が増加となりました。 余地：新型コロナウイルス感染拡大が収束することにより、各施設とも利用者数は増加となるため、向上の余地は大きいです。						

注釈：

成 果 指 標	社会教育・文化施設における施設維持管理上の不具合・トラブル件数						
	【社会教育課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	0件	0件	0件	0件			0件
評 価	状況：01年度と同結果となりました。各施設、開館できないという不具合はありませんでした。 原因：各施設とも修繕等により維持管理をしており、利用者が使用できないという状況はありませんでした。 余地：各施設とも老朽化は進んでいますが、計画的な改修・修繕等を実施していくことで、適切な管理運営にあたります。						

注釈：

■基本事業04 学習情報の提供と学習相談の充実

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	学びの情報が手に入りやすいと思う市民割合							【社会教育課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	55.6%	57.1%	59.3%	51.2%			60%		
評価	状況：01年度に比べ8.1ポイント減少しています。 原因：特に60歳代で「情報の入手がしにくい」という回答が増加したことが影響したと考えられます。 余地：コロナ禍の影響も出た結果と見込めるため、向上の余地はあります。								

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 達成

成 果 指 標	学びの情報を伝える媒体・手段数							【社会教育課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	6件	6件	6件	6件			6件		
評価	状況：広報紙、ホームページ、LINEなど情報伝達媒体としては、このところ変化はありません。 原因：新たな手段の導入は無いため、現状維持となります。 余地：情報伝達媒体が現状維持であるため、向上の余地は小さいです。								

注釈：

政策02 人を育て文化をはぐくむまちづくり

施策02 教育の充実

主管課 学校教育課

関係課 教育総務課、学校計画課

■ 施策の成果状況

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	学校生活に満足している児童の割合(小学校)						
	【学校教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	93.4%	90.6%	92.1%	91.9%			95%

評 状況：数値はわずかに下降しましたが、満足している児童は91.9%と高い水準を維持しています。
原因：個に応じた質の高い教育内容が引き続き継続されている成果と考えます。
余地：引き続き、質の高い教育内容を推進し、目標達成に向けた努力を継続します。

注釈：

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	学校生活に満足している生徒の割合(中学校)						
	【学校教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	90.5%	91.1%	86.2%	85.8%			95%

評 状況：昨年度からは横ばいですが、近年の推移を見ると下降傾向です。
原因：学校によるばらつきが大きいためと考えます。
余地：引き続き、質の高い教育内容の提供を維持します。

注釈：

■ 基本事業01 幼児教育の充実

目標達成度 達成

成 果 指 標	幼稚園の生活や保育に満足している保護者の割合						
	【学校教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	98%	99%	99%	99%			98%

評 状況：数値は横ばいですが、満足している保護者が99%と高い水準を維持しています。
原因：提供している教育内容が保護者にも受け入れられています。
余地：引き続き、満足が得られるよう質の高い教育内容の提供に努めます。

注釈：

							目標達成度	達成
成 果 指 標	友だちと一緒に遊ぶことを喜びのびのびと生活することができると思う園児保護者の割合							【学校教育課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	77.8%	84%	83.4%	83.5%				80%
評 価	状況：数値は横ばいですが、高い水準を維持しています。 原因：園児が登園を楽しみにしていることや、体を動かしてのびのびと遊べるような環境が、受け入れられていると思います。 余地：引き続き、園児が友達と遊ぶことを喜び、のびのびと生活できるよう、指導援助に努めます。							

注釈:

■ 基本事業02 確かな学力の向上

							目標達成度	達成
成 果 指 標	みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(小学校)							【学校教育課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	74.7%	76.5%	76.6%	75.5%				75%
評 価	状況：令和元年度と比較してやや下降していますが、目標値を達成しています。 原因：新型コロナウイルス感染症の影響により、学力への影響が出ている可能性があります。 余地：昨年度の課題については、2年括りで考え、今年度にしっかり対応するよう学校に求めます。							

注釈:

							目標達成度	低
成 果 指 標	みどり市学力調査において、目標値を上回った生徒の割合(中学校)							【学校教育課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	69.2%	70.1%	70.6%	69.9%				75%
評 価	状況：令和元年度と比較してやや下降傾向にあります。 原因：新型コロナウイルス感染症の影響が少なからず出ていると考えます。 余地：課題については、補充学習を中心に I C T の活用を含めて対応するよう学校へ求めていきます。							

注釈:

■ 基本事業03 豊かな心の育成

							目標達成度	達成
成 果 指 標	学校評価アンケートの「豊かな心」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合							【学校教育課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	90.3%	94.9%	94%	93.5%				93%
評 価	状況：高い水準が維持され、目標を達成することができました。 原因：教育活動全体における道德教育等の成果が出ています。 余地：引き続き質の高い教育の提供に努めます。							

注釈:

目標達成度 **基準値を下回る**

成 果 指 標	不登校率						
	【学校教育課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	0.8%	1.2%	0.7%	1.1%			0.6%
評 価	状況：不登校の出現率は、前年度と比較して高くなっています。 原因：新型コロナウイルス感染症による休校やその後の新しい生活様式での学校生活等が重なり、新規の不登校が増加したと考えられます。 余地：個別のきめ細かな対応を続けるとともに、新規の不登校を出さない取組を継続します。						

注釈：

■ 基本事業04 健やかな体の育成

目標達成度 **基準値を下回る**

成 果 指 標	学校評価アンケートの「健康・体力」に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合						
	【学校教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	87.3%	89.2%	89.5%	84.7%			90%
評 価	状況：令和元年度と比較して低下傾向であり、目標を達成できていません。 原因：新型コロナウイルス感染症に関わり、体を動かす喜びを得る機会が減ったことが考えられます。 余地：令和3年度の結果を注視し、原因と対策を講じます。						

注釈：

目標達成度 **(未設定)**

成 果 指 標	「群馬県児童生徒の体力・運動能力調査」で体力優良証をもらえる児童生徒割合						
	【学校教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	14.7%	23.4%	25.5%	—			16%
評 価	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、体力テストを実施しておらず、判断できません。						

注釈：

■ 基本事業05 教職員の資質向上

目標達成度 **達成**

成 果 指 標	人事評価の能力評価において、評価項目の平均が5段階で3以上となった教職員の割合						
	【学校教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	87.7%	100%	100%	100%			90%
評 価	状況：令和元年度と同様、全教職員の評価が3以上となっています。 原因：計画的及び組織的な対応により、教職員の資質能力が向上しています。 余地：目標値を達成しているため向上の余地はありませんが、引き続き教職員の資質向上に向けた努力を継続します。						

注釈：

成 果 指 標	学校評価アンケートの授業の理解度に関する質問に肯定的な回答をした児童・生徒の割合						
	指標特性 上がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	93%	94.4%	94.5%	89.6%			95%
評 価	状況：令和元年度と比較して4.9ポイント低下しています。 原因：新型コロナウイルス感染症により教育課程の削減があり、楽しく充実した授業が不足したり、児童生徒にとって充実感や有用感が得られにくい状況だったことが考えられます。 余地：ICT機器の活用等を通して、楽しく充実した授業提供をし、学びの充実感や有用感を得られるようにします。						

注釈：

■ 基本事業06 教育環境の整備と充実

成 果 指 標	施設維持管理上の不具合・トラブル対応件数						
	指標特性 下がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	51件	40件	36件	48件			50件
評 価	状況：前年度と比較すると12件増加しています。 原因：建物及び設備等に耐用年数を大幅に過ぎているものが多数あるためです。 余地：個別施設計画に基づき、建物の改修、設備の更新が進むにつれ、老朽化による不具合は減少するものと考えます。						

注釈：

成 果 指 標	児童生徒ひとりあたりの学校維持管理費						
	指標特性 下がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	56,975円／人	66,780円／人	62,441円／人	93,578円／人			57,000円／人
評 価	状況：前年度に比べ大幅に増加しています。 原因：児童生徒数が減少していますが、老朽化による施設維持に係る経費を減らせないためです。 余地：学校の統廃合により指標値が若干改善すると思われます。						

注釈：

成 果 指 標	学校評価アンケートの安心・安全な環境に関する質問に肯定的な回答をした保護者の割合						
	指標特性 上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	93.9%	95.7%	95.5%	94.6%			95%
評 価	状況：令和元年度と比較してほぼ横ばいの状況である。目標にはわずかに届いていませんが、ほぼ達成しました。 原因：施設の修繕や避難訓練、保護者への啓発活動の成果が表れています。 余地：引き続き計画的・組織的な対応に努めます。						

注釈：

政策02 人を育て文化をはぐくまちづくり

施策03 文化財の保護と活用

主管課 文化財課

関係課 教育総務課

■ 施策の成果状況

目標達成度 低							
成 果 指 標	毀損・修理又は保存整備をする指定・登録文化財数 【文化財課】						
	指標特性		下がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	7件	7件	7件	7件			5件
評 価	状況：来迎阿弥陀三尊笠塔婆覆屋の修繕を実施しましたが、稲荷神社（小夜戸）の修繕が必要となっています。 原因：修理に先立つ事前調査を実施している文化財が2件ありますが、本年度は修理まで至らなかつたためです。 余地：計画的な修理や保存整備を行うことにより、成果向上の余地はあります。						

注釈：

目標達成度 低							
成 果 指 標	市民が認識している市内文化財数(7項目中) 【文化財課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	3.4項目	3.2項目	3.6項目	3.5項目			5項目
評 価	状況：前年度より、0.1項目減少しています。旧大間々銀行以外の文化財で認知件数が減少しています。 原因：新型コロナウイルス感染症で、祭典やイベントが中止になったこと、外出の機会が減ったことなどが原因と考えられます。 余地：コロナ禍でも市民が文化財に親しめるよう、情報発信を工夫することで、成果向上の余地はあります。						

注釈： 指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 文化財の保護

目標達成度 低							
成 果 指 標	指定・登録文化財数 【文化財課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	85件	86件	86件	86件			90件
評 価	状況：新たな文化財の指定はなく、86件で横ばいです。 原因：登録有形文化財候補建造物の調査を行いましたが、登録について所有者との同意に至っていないためです。 余地：指定・登録候補となる文化財を調査中です。客観的な評価付け及び所有者の同意が得られれば、成果向上の余地があります。						

注釈：

							目標達成度	達成
成 果 指 標	継続的に継承できる無形民俗文化財数							【文化財課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	4団体	4団体	4団体	4団体				4団体
評 価	状況：市内の無形民俗文化財及び保有団体4件が維持されています。 原因：高齢化と人口減少により構成員数が減少し、存続が危ぶまれる団体もありますが、どうにか維持できている状況です。 余地：目標を達成しているため、成果向上の余地はありません。							

注釈：

■ 基本事業02 文化財の活用

							目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	博物館・展示施設の年間延べ入館者数							【文化財課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	32,445人	32,444人	31,373人	16,636人				33,000人
評 価	状況：全ての施設で入館者数が減少し、5館全体では14,737人の大幅な減少となりました。 原因：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの中止及び2回（合計約4か月）の臨時休館があったためです。 余地：新型コロナウイルス感染症が収束に向かうことで、数値の回復が期待できるため、成果向上の余地はあります。							

注釈：

							目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	文化財活用事業への年間延べ参加者数							【文化財課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	10,078人	12,906人	11,866人	3,019人				12,000人
評 価	状況：文化財活用事業への参加者は3,019人で、前年度より8,847人の大幅な減少となっています。 原因：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのイベントが中止になったためです。 余地：新型コロナウイルス感染症が収束に向かうことで、数値の回復が見込めることから、成果向上の余地はあります。							

注釈：

■ 基本事業03 博物館・展示施設の適正管理

							目標達成度	高
成 果 指 標	文化財施設維持管理上の不具合・トラブル件数							【文化財課】
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	40件	33件	30件	31件				30件
評 価	状況：不具合・トラブルが原因で修繕を行った件数は、前年度より1件増えて31件でした。 原因：展示施設には大正時代の歴史的建造物があり、築年数が経過した建物も多いため、不具合・トラブルが発生しやすい状況です。 余地：施設の老朽化が進んでいるため、大規模な改修を実施しない限り、現状では成果向上の余地は小さいです。							

注釈：

政策02 人を育て文化をはぐくまちづくり

施策04 市民スポーツの充実

主管課 社会教育課

関係課 東市民生活課、教育総務課

■ 施策の成果状況

								目標達成度	達成
成 果 指 標	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人市民の割合								【社会教育課】
	指標特性		上がると良い指標			対前年度		横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	32.4%	38.6%	36.8%	38.4%					35%
評 価	状況：前年度より1.6ポイント増加しています。目標値は、達成しています。 原因：コロナ禍において、中学生・高校生は体育の授業以外でスポーツ活動に親しむ機会が減少したが、就学前、小学生、65歳以上の方のスポーツ活動に親しむ機会が増加したことが原因と考えます。 余地：主な活動拠点である市有体育施設の利用状況を考えると、向上の余地は小さいと考えます。								

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 スポーツ活動の場づくり

								目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	体育施設の年間延べ利用者数								【社会教育課】
	指標特性		上がると良い指標			対前年度		低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	559,168人	564,351人	573,520人	224,967人					650,000人
評 価	状況：前年度より348,553人減少しています。 原因：新型コロナウイルス感染症により、市有体育施設を休場(4~6月、12~3月)したことにより利用者数が減少したと考えられます。 余地：コロナ禍においては、感染防止の観点から利用制限等掛けていることから、向上の余地は小さいと考えます。								

注釈：

								目標達成度	達成
成 果 指 標	体育施設維持管理上の不具合・トラブル件数								【社会教育課】
	指標特性		下がると良い指標			対前年度		向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	32件	41件	28件	17件					30件
評 価	状況：前年度より11件減少しています。 原因：施設の破損や作業用機材の修繕など施設等の老朽化が原因です。また、新型コロナウイルス感染症のため、休場期間があり、利用件数が減少したことも考えられます。 余地：施設等の老朽化に伴う不具合のため、計画的に改修を行うことで事前にトラブルを防ぐことができることから、向上の余地はあると考えます。								

注釈：

■ 基本事業02 スポーツ活動の推進

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	スポーツ活動に参加する機会が充足していると思う市民の割合						
	【社会教育課】						
	指標特性	上ると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	16.9%	18.1%	16.6%	14%			25%

状況：前年度から2.6ポイント減少しています。

原因：新型コロナウイルス感染症のため、各種スポーツイベント事業の中止により、スポーツ活動に参加する機会の提供が減少したと考えられます。

余地：例年開催しているスポーツイベントだけでなく、コロナ禍においてオンラインを活用したスポーツ動画の配信など、向上の余地はあると考えます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	教室・大会の延べ参加者数						
	【社会教育課】						
	指標特性	上ると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	2,154人	1,294人	2,025人	411人			2,500人

状況：前年度から1,614人減少しています。

原因：新型コロナウイルス感染症のため、各種スポーツ事業(小学生ナイター陸上教室、スポーツフェスティバル等)が中止となったことが原因と考えます。

余地：コロナ禍において、事業が中止となりましたが、ポッチャ普及推進に係る教室開催等が考えられるため、成果向上の余地はあると考えます。

注釈：

■ 基本事業03 スポーツ活動の支援

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	市内で組織に属して競技スポーツをしている市民数(体育協会の競技スポーツ種目登録者数)						
	【社会教育課】						
	指標特性	上ると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	2,735人	2,450人	2,516人	2,331人			3,000人

状況：前年度から185人減少しています。

原因：競技団体の内、1団体が休部し、新規に1団体の登録がありました(23種目102チーム)。種目数に変化はありませんでしたが、加盟チーム数に減少があり、これに伴い登録者数も減少しています。

余地：スポーツ協会に登録していない競技種目(サッカー等)や活動団体もあるため、向上の余地はあると考えます。

注釈：

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	スポーツ登録団体数						
	【社会教育課】						
	指標特性	上ると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	408団体	416団体	403団体	382団体			440団体

状況：前年度から21団体減少しています。

原因：新型コロナウイルス感染防止対策により、市有体育施設の休場と自粛が求められたことが考えられます。

余地：コロナ禍において、施設の休場や団体活動が休止していることから、施設の開場や活動が再開すれば、増加する余地はあると考えます。

注釈：

政策03 安全で安心して生活できるまちづくり

施策01 生活環境の向上

主管課 生活環境課

関係課 都市計画課

■施策の成果状況

							目標達成度	達成
成 果 指 標	快適な生活環境になっていると思う市民の割合。							【生活環境課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	56.5%	64.6%	71.1%	72.6%				60%
評価	状況：前年度と比較して、1.5ポイント増加しています。 原因：生活公害等の早期対応が、快適な生活ができる環境に結びついていると考えます。 余地：今後も生活公害解決に努めますが、目標値を達成しているため成果向上の余地は小さいと考えます。							

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■基本事業01 ごみの減量化・資源化の推進

							目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	市民1人1日あたりのごみ排出量							【生活環境課】
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	970 g	978 g	985 g	977 g				950 g
評価	状況：前年度と比較して1人1日当たりのごみの排出量は8g減少しています。 原因：新型コロナウイルス感染症の影響により、集団回収の実施が減ったことが原因であると考えます。 余地：ごみ減量に関する啓発やリサイクル活動を推進することで向上の余地はあると考えます。							

注釈：

							目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	リサイクル率							【生活環境課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	7.8%	8.1%	8.2%	6%				14%
評価	状況：前年度と比較して、2.2ポイント低下しています。 原因：新型コロナウイルス感染症の影響により、集団回収の実施が減ったことが原因であると考えます。 余地：リサイクルのPRや集団回収活動を推進することで、成果向上の余地はあると考えます。							

注釈：

■基本事業02 ごみの適切な運搬処理

							目標達成度	達成
ゴミの収集・処理に関する事故件数							【生活環境課】	
成 果 指 標	指標特性	下がると良い指標			対前年度	向上		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	1件	1件	1件	0件			0件	
評 価	状況：事故は0件です。 原因：適正に分別され、スプレー缶などの混入がなかったことによるものです。 余地：正しい分別の周知が徹底されることで、成果向上の余地は小さいです。							
注釈:								

■基本事業03 生活公害・産業公害対策の推進

							目標達成度	基準値を下回る
生活環境に関する年間苦情件数							【生活環境課】	
成 果 指 標	指標特性	下がると良い指標			対前年度	向上		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	118件	171件	166件	155件			100件	
評 価	状況：前年度と比較して、11件減少しています。 原因：犬猫・野焼き・その他等の苦情が大半を占めています。 原因者のモラルの低下が原因であると考えます。 余地：広報やホームページなどで引き続き啓発活動を行いモラルを向上させることで、成果向上の余地はあると考えます。							
注釈:								

							目標達成度	基準値を下回る
産業に関する年間苦情件数							【生活環境課】	
成 果 指 標	指標特性	下がると良い指標			対前年度	低下		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	12件	13件	20件	26件			10件	
評 価	状況：前年度と比較して、6件増加しています。 原因：工場等の音や農業関係の悪臭等については、農地・住宅・工場の混在化が原因と考えます。 余地：関係機関等から指導を行うことにより、成果向上の余地はあると考えます。							
注釈:								

■基本事業04 し尿・浄化槽汚泥の適切な運搬処理

							目標達成度	達成
し尿・浄化槽汚泥の運搬・処理に関する年間苦情件数							【生活環境課】	
成 果 指 標	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	0件	0件	0件	0件			0件	
評 価	状況：前年度と同様に0件です。 原因：運搬処理業務が適切に処理されていると考えられます。 余地：目標を達成しているため、成果向上の余地は小さいと考えます。							
注釈:								

政策03 安全で安心して生活できるまちづくり

施策02 自然環境の保全

主管課 生活環境課

関係課 企画課、こども課、農林課、商工課、建設課、教育総務課、学校教育課

■ 施策の成果状況

目標達成度 達成							
成 果 指 標	地球に優しい生活をしている市民の割合(15項目中5項目以上実践者) 【生活環境課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	51.9%	69.2%	66.9%	69.4%			60%
評 価	状況：前年度と比較して、2.5ポイント増加しています。 原因：省エネへの取り組みが増えたことによるものです。 余地：継続して省エネルギー意識を啓発していきますが、目標を達成しているため、成果向上の余地は小さいと考えます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 地球温暖化防止の推進

目標達成度 基準値を下回る							
成 果 指 標	新エネルギー(再生可能等)を利用している市民の割合 【生活環境課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	19.8%	21.1%	21.8%	18.9%			30%
評 価	状況：前年度と比較して2.9ポイント減少し、低下しています。 原因：全体の新エネルギー利用率が低く、アンケート結果にばらつきが生じているためです。 余地：住宅用新エネルギーシステムの普及啓発に努めることで、成果向上の余地はあると考えます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 達成							
成 果 指 標	行政活動による二酸化炭素排出量 【生活環境課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	13,455t-CO2	11,522t-CO2	10,233t-CO2	8,762t-CO2			13,000t-CO2
評 価	状況：前年度と比較して、1,471t-CO2減少しました。 原因：廃プラスチック類の焼却量や燃料使用量が減少したためです。 余地：二酸化炭素排出量削減に努めますが、目標を達成しているため、成果向上の余地は小さいです。						

注釈：

■基本事業02 自然資源の保全

目標達成度 達成

成 果 指 標	保護されている希少な自然資源数							【生活環境課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	8件	8件	8件	8件			8件		
評 価	状況：前年度と同様の8件です。 原因：希少な自然資源の指定に変更がなかったためです。 余地：環境省の国内希少動植物種の指定や市指定天然記念物の動植物の指定が必要なことから向上の余地は小さいです								

注釈:

■基本事業03 放射線対策の推進

目標達成度 達成

成 果 指 標	空間線量の年間平均値							【生活環境課】	
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	0.061 μ sv/h	0.06 μ sv/h	0.06 μ sv/h	0.06 μ sv/h			0.06 μ sv/h		
評 価	状況：前年度と同様に0.06 μ sv/hです。 原因：測定値が低位で安定して推移していると考えられます。 余地：放射性物質は時間の経過とともに減少していくますが、目標を達成しているため、成果向上の余地は小さいです。								

注釈:

政策03 安全で安心して生活できるまちづくり

施策03 安全な暮らしの推進

主管課 危機管理課

関係課 大間々市民生活課、東市民生活課、商工課、建設課、社会教育課

■ 施策の成果状況

目標達成度 中							
成 果 指 標	交通事故や犯罪が少なく安全だと思う市民の割合 【危機管理課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	低下
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	71.1%	74.7%	79.6%	74%			80%
評 価	状況：前年度から5.6ポイント低下しました。 原因：実際の交通事故件数や刑法犯認知件数について減少傾向にあります。 余地：引き続き普及啓発に努め、目標値の達成を目指します。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 交通安全対策の推進

目標達成度 基準値を下回る							
成 果 指 標	交通違反をした市民の割合 【危機管理課】						
	指標特性		下がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	7%	7.5%	7.3%	7.3%			5%
評 価	状況：R1年度から横ばいで、基準値を下回っています。 原因：指標は自己申告による違反件数であります、実際の交通事故件数や刑法犯認知件数について減少傾向にあります。 余地：引き続き広報活動等を通じて、目標値の達成を目指します。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 達成							
成 果 指 標	交通事故発生件数(1月～12月) 【危機管理課】						
	指標特性		下がると良い指標			対前年度	向上
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	317件	301件	293件	210件			300件
評 価	状況：前年度から83件向上しています。 原因：交通事故件数について減少傾向にあります。 余地：すでに目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。						

注釈：

■ 基本事業02 防犯活動の推進

目標達成度 達成							
成 果 指 標	刑法犯認知件数 【危機管理課】						
	指標特性		下がると良い指標			対前年度	向上
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	325件	293件	293件	241件			300件
評 価	状況：R1年度から52件減少し、目標値を達成しております。 原因：刑法犯認知件数については防犯対策の多様化により、減少傾向にあります。 余地：引き続き防犯思想の高揚と啓発に取り組み目標達成の維持に努めます						

注釈：

成 果 指 標	防犯対策平均実施項目数						
	【危機管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	1.8項目	1.7項目	1.8項目	1.7項目			3項目
評 価	状況：元年度から指標値0.1項目低下しました。 原因：指標は自己申告による実施項目数であり、刑法犯認知件数について減少傾向にあります。 余地：防犯対策の普及啓発に努め目標値の達成を目指します。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業03 消費生活の安定

成 果 指 標	消費者トラブルに遭った市民の割合						
	【商工課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	1.5%	1.5%	1.9%	1.7%			0%
評 価	状況：前年度と比較して0.2ポイント向上しました。 原因：消費者トラブルの被害に遭わないよう市民の意識も徐々に高まっていると思われます。しかし、詐欺や悪質商法の手口も巧妙化しており、契約トラブル等の被害は一定数あると思われます。 余地：年々巧妙化する手口に対処すべく、詐欺や契約トラブルなどの被害防止のため、継続的な啓発活動及び相談員のレベルアップの必要があると考えます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

成 果 指 標	消費者トラブルに対する対策を知っている市民の割合						
	【商工課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	78.8%	81.5%	78.1%	80%			90%
評 価	状況：前年度と比較して1.9ポイント上昇しましたが、ほぼ横ばいです。 原因：出前講座や広報等の啓発活動により、市民が詐欺や契約に関する消費者トラブルに対する知識が備わってきているものの、一部には啓発が十分行き届いていない面もあると思われます。 余地：新型コロナウイルスに関連した新たな詐欺やトラブルなども増えているため、継続して啓発活動を行う必要があると考えます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業04 青少年の健全育成の推進

成 果 指 標	青少年健全育成活動への参加率						
	【社会教育課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	21.6%	18.5%	20.5%	12.3%			22%
評 価	状況：01年度と比べ8.2ポイント減少しています。 原因：60歳以上の参加者が減少したことが要因です。コロナ禍の影響もあると考えられます。 余地：60歳以上の市民が興味を示し、参加しやすいメニューを工夫することにより向上の余地はあります。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

政策03 安全で安心して生活できるまちづくり

施策04 防災・減災対策の推進

主管課 危機管理課

関係課 大間々市民生活課、東市民生活課、社会福祉課、建設課

■ 施策の成果状況

								目標達成度	達成
成 果 指 標	被災世帯・事業所数								【危機管理課】
	指標特性		下がると良い指標			対前年度		横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	0件	2件	0件	0件				0件	
評 価	状況：自然災害による被災世帯は発生しませんでした。 原因：台風の襲来や、ゲリラ豪雨等ありましたが、家屋等の被害は発生しなかったことによるものです。 余地：今後も、安全・安心なまちづくりに努めますが、すでに目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。								

注釈:

								目標達成度	低
成 果 指 標	災害・火災による死亡者数								【危機管理課】
	指標特性		下がると良い指標			対前年度		低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	1人	1人	0人	1人				0人	
評 価	状況：本年度は、火災による死者が1名いました。 原因：車両からの出火によるものです。 余地：今後も継続して火災予防及び死者防止に努めるため、成果向上の余地はあります。								

注釈:

■ 基本事業01 防災意識の向上

								目標達成度	低
成 果 指 標	家庭で実施している防災対策の項目数								【危機管理課】
	指標特性		上がると良い指標			対前年度		横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	4項目	3.9項目	4.1項目	4.2項目				8項目	
評 価	状況：令和元年度から0.1ポイント増加しましたが、ほぼ横ばいです。 原因：R2年度は、災害による被害がなかったことから、比較的安全と考える市民が多かったことが考えられます。 余地：啓発活動を推進することで、成果向上の余地はあると考えます。								

注釈: 指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業02 地域防災力の充実

目標達成度	高
-------	---

成 果 指 標	自主防災組織でカバーされる世帯数の割合						
	【危機管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	59.1%	68.5%	83%	83.8%			90%

状況：令和元年度と比較して2団体（大間々第2区、東町4区座間地区）の自主防災組織が設立され、0.8ポイント増加しています。
原因：各行政区へ設立を促したことで、災害に対する「共助」の意識が高まったことが考えられます。
余地：今後も未設置行政区へ働きかけをすることで、成果向上の余地はあると考えられます。

注釈：

目標達成度	達成
-------	----

成 果 指 標	災害時要援護者避難支援個別計画の策定割合						
	【社会福祉課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	70%	82%	95.1%	95.1%			80%

状況：令和元年度と比較して、横ばいとなっています。
原因：計画策定者の避難支援に必要となる情報の更新作業と未策定者への対応検討を進めていたため、横ばいの状況となっています。
余地：個別計画未策定者はわずかとなったため、向上の余地は小さいです。

注釈：

目標達成度	基準値を下回る
-------	---------

成 果 指 標	消防団員数の充足率						
	【危機管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	81.7%	81.4%	80.7%	78.9%			85%

状況：令和元年度と比較してポイント1.8ポイント減少しています。
原因：消防団の活動について、地域の理解が十分でなく、勧誘が難しい状況にあります。
余地：今後も消防団員の確保に係る啓発に努めますが、成果向上の余地は小さいと考えられます。

注釈：

■ 基本事業03 災害情報の充実

目標達成度	低
-------	---

成 果 指 標	災害情報の取得手段の認知項目数						
	【危機管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	3.7項目数	3.7項目数	3.9項目数	4項目数			5項目数

状況：令和元年度と比較して、0.1ポイント増加しましたが、ほぼ横ばいです。
原因：市からの情報発信（防災行政無線、防災アプリ、防災・防犯情報メール）の回答者数が少ないとから、市民に認知されていないことが考えられます。
余地：今後も災害情報の取得手段の啓発に努めることから、向上の余地はあると考えられます。

注釈： 指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

							目標達成度	達成
成 果 指 標	市民が災害情報を得るための手段数							【危機管理課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	10種類	10種類	11種類	11種類			10種類	
評 価	状況：令和元年度と比較して、横ばいとなっています。 原因：災害情報を得るための手段は令和元年度と変わっていません。 余地：すでに目標を達成しているため、向上の余地は小さいです。							

注釈：

■ 基本事業04 災害時避難体制の整備

							目標達成度	達成
成 果 指 標	保存食備蓄量							【危機管理課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	15,000食	15,000食	15,000食	15,000食			15,000食	
評 価	状況：令和元年度と比較して、横ばいとなっています。 原因：ローリングストック方式により、賞味期限の到来に伴い、定期的に入替を実施し、一定数を確保しています。 余地：今後も計画的な備蓄の整備に努めますが、すでに目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。							

注釈：

							目標達成度	低
成 果 指 標	指定避難所の耐震化率							【危機管理課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	44.3%	44.3%	44.3%	45.5%			50%	
評 価	状況：令和元年度と比較して、ほぼ横ばいとなっています。 原因：耐震化を進めるには、施設の優先度や改修費用との関係から横ばいの状況となっています。 余地：引き続き、安心して避難できる環境を整備していくことで、成果向上の余地はあると考えられます。							

注釈：

							目標達成度	達成
成 果 指 標	自治体及び事業者との災害時応援協定数							【危機管理課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	38協定	42協定	42協定	47協定			40協定	
評 価	状況：令和元年度と比較して5協定増加し、順調に推移しています。 原因：市民にとって、災害発生時に有益な協定が締結できていると考えられます。 余地：今後も有益な協定締結に努めますが、すでに目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。							

注釈：

目標達成度

達成

成 果 指 標	災害時における職員行動に関する教育・訓練数						
	【危機管理課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	0回	0回	1回	1回			1回
評 価	状況：令和元年度と比較して、横ばいとなっています。 原因：令和元年度に引き続き、災害発生時の職員参集訓練を実施しました。 余地：今後も引き続き訓練を実施することで、成果向上の余地はあると考えられます。						

注釈:

■ 基本事業05 消防・救急体制の充実

目標達成度

低

成 果 指 標	消防車の現場到着時間						
	【危機管理課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	9.1分	9.4分	9分	9分			8.3分
評 価	状況：令和元年度と比較して、横ばいとなっています。 原因：交通事情の変化や事故回避の観点から、目標値には達していませんが、迅速に対応していると考えられます。 余地：迅速に消火活動を展開していることから、成果向上の余地は小さいです。						

注釈:

目標達成度

基準値を下回る

成 果 指 標	救急出動から搬送までの時間						
	【危機管理課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	33分	33.4分	33.9分	33.7分			32分
評 価	状況：令和元年度と比較して0.2分短縮していますが、ほぼ横ばいとなっています。 原因：救急搬送システムの精度は向上していますが、交通事情等により時間がかかっていると考えられます。 余地：交通事情によるものと考えられるため、成果向上の余地は小さいです。						

注釈:

政策04 潤いある快適なまちづくり

施策01 水道水の安定供給と汚水処理の推進

主管課 都市計画課

関係課 東市民生活課、生活環境課

■ 施策の成果状況

目標達成度 **基準値を下回る**

成 果 指 標	安全で良質な水道水を利用することができると思う市民割合						
	【東市民生活課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
		94.8%	94.5%	96.1%	93.7%		95%
評価							
状況：令和元年度に比べ2.4ポイント減少しました。 原因：漏水時の濁水で生活に影響があったことと考えられます。 余地：漏水修繕後の復旧を新調に行うことで濁水リスクは軽減されると考えられます。							

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 **中**

成 果 指 標	汚水処理人口普及率						
	【都市計画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
		57.9%	61.1%	63.1%	63.9%		72%
評価							
状況：令和元年度に比べ0.8ポイント向上しました。 原因：公共下水道の整備及び合併処理浄化槽への転換が進んだことによるものです。 余地：今後も公共下水道の整備、合併処理浄化槽への転換を促進することで、成果向上の余地はあると考えられます。							

注釈：

目標達成度 **基準値を下回る**

成 果 指 標	渡良瀬川のBOD濃度						
	【都市計画課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
		0.6ppm	0.6ppm	0.8ppm	1.1ppm		0.5ppm
評価							
状況：令和元年度に比べ数値が0.3ppm増加しましたが、良質な河川の基準範囲内（2ppm以下）です。 原因：国土交通省による総合水系環境整備事業や下水道の整備、合併浄化槽への転換に伴う水質対策により、数値が基準範囲内でとどまっています。 余地：引き続き、下水道の整備や合併浄化槽への転換促進等の水質対策を実施することで向上の余地はあると考えます。							

注釈：

■ 基本事業01 簡易水道等による水道水の安定供給

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	有収率(簡易水道)						
	【東市民生活課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	67.22%	56.14%	53.08%	56.57%			75%

注釈: 状況: 令和元年度に比べ3.49ポイント向上しました。
原因: 漏水を発見し修繕対応したためです。
余地: 漏水を早期に発見し、計画的な修繕を行っていくことで成果向上の余地はあると考えられます。

注釈:

目標達成度 達成

成 果 指 標	水質関連事故件数(簡易水道・小水道)						
	【東市民生活課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	0件	0件	0件	0件			0件

注釈: 状況: 目標値を達成しています。
原因: 簡易水道事業の水源は河川上流域に位置しており、水質が良好であり加えて浄水処理を適正に行えた結果と考えます。
余地: 今後も「安全で安定した良質の水道水」を供給するため、引き続き努めます。

注釈: 事故が発生しないことが理想であるため基準を0にしております。

■ 基本事業02 公共下水道の整備

目標達成度 中

成 果 指 標	公共下水道普及率						
	【都市計画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	24.7%	26.1%	27.5%	27.9%			33%

注釈: 状況: 令和元年度に比べ0.4ポイント増加し、緩やかな伸びとなっています。

原因: 事業実施時期と供用開始時期が異なっていることによるものです。

余地: 今後も人口集中地域での公共下水道事業を推進することから

向上の余地はあると見込まれます。

注釈:

目標達成度 達成

成 果 指 標	公共下水道水洗化(接続)率						
	【都市計画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	67.8%	70.7%	70.5%	72.2%			70%

注釈: 状況: 令和元年度に比べ1.7ポイント増加しました。

原因: 公共下水道接続促進補助金のPRに努めた結果であると考えます。

余地: 今後も下水道の普及、促進に努めるため、向上の余地はあると考えます。

注釈:

■基本事業03 管渠・処理施設の維持管理

目標達成度

達成

成 果 指 標	管渠、ポンプ、処理施設の不具合件数						
	【都市計画課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	5件	11件	6件	3件			3件

注釈:

■基本事業04 合併処理浄化槽の設置推進

目標達成度

中

成 果 指 標	合併処理浄化槽人口普及率						
	【都市計画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	31.4%	33.2%	33.9%	34.4%			38%

注釈:

政策04 潤いある快適なまちづくり

施策02 公共交通の充実

主管課 企画課

関係課 東市民生活課、危機管理課、建設課、都市計画課

■ 施策の成果状況

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	市内の移動に困らない市民の割合						
	【企画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	78.9%	78.9%	77.9%	75.4%			84%

評価

状況：前年度から2.5ポイント減少し、基準値を3.5ポイント下回っています。笠懸、東地域で悪化しており、年齢別では50歳以上で公共交通の不便さを感じている割合が増加しています。

原因：バス交通では、希望時間通りに予約が取れないことや本数の少なさを指摘する意見が挙げられており、利用者へのニーズを満たす必要があると考えられます。

余地：運行台数を増やすなどの検討をし、公共交通への不満を解消することで成果向上の余地があります。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 生活交通の充実

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	市の運営・補助による生活交通機関利用者数						
	【企画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	35,648人	32,915人	32,410人	21,980人			40,000人

評価

状況：前年度に対して10,430人減少。基準値に対しては13,668人減少しています。

原因：新型コロナウイルス感染拡大の影響で電話でバス、東町路線バスともに利用者は減少となりました。特に東町路線バスについては、観光路線の要素が大きいため市内施設が休館していた期間は、利用者が大幅に減少しました。また、感染拡大が想定されていない指標値と比較しているため大幅な減少ともいえます。

余地：公共交通体系の見直しにより利用者の増加が見込めます。

注釈：

■ 基本事業02 鉄道利用環境の向上

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	市内全駅の年間乗降客数						
	【企画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	168万人	166万人	164万人	108万人			171万人

評価

状況：前年度に対し56万人減少しています。

原因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、乗降客数は前年度比65%と大幅に減少しました。外出自粛やテレワークの推進、また感染への不安感から移動手段を変更していることが原因と考えられます。

余地：感染拡大期には利用者の増加は厳しく、成果向上の余地は小さいですが、移動手段の確保のため現在の運行体制を維持することが必要です。

注釈：

政策05 質の高い利便性あるまちづくり

施策01 特色あるまちづくりの推進

主管課 都市計画課

関係課 農林課、建設課、建築指導課

■ 施策の成果状況

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	【都市計画課】						
指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
68.7%	75.4%	82.7%	83%				70%

評価状況：令和元年度と比較して0.3ポイント増加し、目標値を達成しています。
原因：各地域における都市基盤整備が進んでいることなどから、高い指標値を維持しているものと考えられます。
余地：今後、本施策に関する事業を推進することで、さらなる向上が期待できます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 秩序ある土地利用の推進

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	【都市計画課】						
指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
69.6%	77%	82.7%	82.7%				70%

評価状況：令和元年度と比較して増減なく、目標値を達成しています。
原因：すでに住宅・商業施設・工場・農地が各地域に広がり、まちの基盤が形成されていることから、指標値が高くなっていると考えられます。
余地：土地利用誘導施策の導入等により、まちのまとまりを形成することで、さらなる成果向上が期待できます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業02 緑地空間づくりの推進

成 果 指 標	目標達成度 基準値を下回る						
	【都市計画課】						
指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
76.4%	76.9%	75.1%	72.9%				80%

評価状況：令和元年度と比較して2.2ポイント減少しましたが、ほぼ横ばいです。
原因：既存の緑地景観に恵まれていることから、一定の指標値を維持しているものと考えられます。
余地：計画的に公園・広場等の整備を進めることにより、向上の余地があります。また、景観計画を策定したことで、緑の景観に配慮したまちづくりが推進されることにより、指標値の向上が期待されます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

成 果 指 標	目標達成度 高						
	【建設課】						
指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
26.8ha	27.8ha	27.8ha	27.8ha				28.1ha

評価状況：公園の面積は、昨年度と同じです。
原因：新たな公園整備は、ありませんでした。
余地：計画的な公園等の整備により向上の余地があります。

注釈：

政策05 質の高い利便性あるまちづくり

施策02 道路の整備と浸水対策の推進

主管課 建設課

関係課 東市民生活課、危機管理課、都市計画課、建築指導課

■ 施策の成果状況

目標達成度 中							
成 果 指 標	道路の整備状況に対する満足度						
	【建設課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	33.8%	28.8%	35.8%	38%			40%
評 価	状況：令和元年度と比較して2.2ポイント向上しています。目標達成まであと2ポイントです。 原因：気象庁の年別降雨量統計によると桐生の降雨量が2019→2020を比較すると約20%減少しているため、降雨による道路ダメージが少なかったことが一因と考えられます。また、市内の道路整備や維持管理の対応により成果が徐々に向上していると考えられます。 余地：多方面からの意見や要望を道路整備事業や道路維持管理事業に反映させることで、向上の余地はあります。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 市道・橋梁の整備の推進

目標達成度 中							
成 果 指 標	市道の新設及び改良延長						
	【建設課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	26,876m	30,436m	31,961m	34,196m			38,876m
評 価	状況：令和元年度と較して2,235m延長され向上しています。 原因：市内の道路整備が成果の向上に影響したものと考えられます。 余地：市道の新設・改良に重点を置くことで、向上の余地はあります。						

注釈：

■ 基本事業02 市道・橋梁の維持管理

目標達成度 基準値を下回る							
成 果 指 標	市道・橋梁の維持管理上の瑕疵事故件数						
	【建設課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	2件	4件	3件	4件			0件
評 価	状況：令和元年度と比較して瑕疵事故件数が1件増加しました。 原因：道路の不具合箇所を早期に発見し、補修等に努めていますが、道路の修繕対応の遅れにより瑕疵事故につながったと考えられます。 余地：道路の経年劣化等により不具合箇所は今後も増加することが見込まれるため、速やかな修繕対応により向上する余地があります。						

注釈：

							目標達成度	低
成 果 指 標	市道補修対応率							【建設課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	95%	95%	95%	95%				96%
評 価	状況：令和元年度と比較して、横ばいです。 原因：瑕疵事故に繋がり兼ねない市道の補修については、緊急に対応しています。 余地：今後も適切な市道の維持管理に努めますが、道路の経年劣化等により不具合箇所は今後も増加することが見込まれるため、向上の余地は小さいです。							

注釈:

■ 基本事業03 道路冠水・浸水対策の推進

							目標達成度	低
成 果 指 標	道路冠水箇所数							【建設課】
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所				0箇所
評 価	状況：令和元年度と比較して、横ばいです。 原因：笠懸地区においては、調整池等の整備を進めておりますが、近年のゲリラ豪雨等の原因により改善が図れない状況です。 余地：今後も、調整池等の整備を進めることで、向上の余地はあります。							

注釈:

							目標達成度	達成
成 果 指 標	床上・床下浸水家屋数							【危機管理課】
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	3箇所	0箇所	0箇所	0箇所				0箇所
評 価	状況：令和元年度と比較して、増加しておりません。 原因：調整池や雨水管路の整備が成果を上げているものと考えられます。しかしながら、近年ゲリラ豪雨などが多発しており今後も整備の推進が必要です。 余地：目標を達成しているため、向上の余地は小さいです。							

注釈:

政策05 質の高い利便性あるまちづくり

施策03 住宅・土地の利活用促進

主管課 建設課

関係課 企画課、東市民生活課、危機管理課、生活環境課、商工課、都市計画課、建築指導課

■ 施策の成果状況

								目標達成度	達成
成 果 指 標	空き家率								【建設課】
	指標特性		下がると良い指標			対前年度		横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	10(平成25)	10%	10%	10%				10%	
評価	状況：R1年度と比較して増加しておりません。 原因：空き家率を測定する住宅土地統計調査が5年に1度の実施であるため、現状値は最新の平成30年度の数値を用いています。 余地：令和元年度より建設課で空き家対策として、空き家の改修や除却等を推進しているため、今後は成果が向上するものと考えています。								

注釈：

								目標達成度	達成
成 果 指 標	新規住宅建築件数								【建築指導課】
	指標特性		上がると良い指標			対前年度		低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	193戸	271戸	250戸	223戸				220戸	
評価	状況：R1年度と比較して27件減少しました。 原因：消費税増税による影響により、減少したものと考えられます。 余地：空き家の除却等を推進することで成果が向上するものと考えますが、経済状況の変動による影響が最も大きいため、向上の余地は小さいです。								

注釈：

■ 基本事業01 良好的な住宅環境

								目標達成度	低
成 果 指 標	空き家の利活用件数(累計)								【建設課】
	指標特性		上がると良い指標			対前年度		横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	2件	6件	6件	6件				24件	
評価	状況：空き家バンク制度に登録した件数は9件増加しましたが、空き家バンク制度を利用し、空き家が購入または賃貸された件数は0件で前年と比較して横ばいです。 原因：希望物件と紹介物件のマッチングが悪かったためであると考えられます。 余地：今後も情報を広く発信していくことで成果が向上するものと考えています。								

注釈：

■基本事業02 遊休資産の活用

								目標達成度	低
成 果 指 標	遊休資産を活用した住宅着工戸数								【建設課】
	指標特性	上ると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	0戸	0戸	0戸	0戸				3戸	
評価	状況 : R1年度と同様に0件となりました。 原因 : 浅原分譲地1区画と東町並分譲地3区画の販売を募集しましたが購入希望者がおりませんでした。 余地 : 引き続き販売を継続します。								

注釈:

■基本事業03 民間開発の適正指導

								目標達成度	達成
成 果 指 標	民間開発の指導戸数								【建築指導課】
	指標特性	上ると良い指標			対前年度	低下			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	33区画	88区画	99区画	63区画				35区画	
評価	状況 : R1年度と比較し36.4%減少しておりますが、前期目標値35区画を達成しており順調に推移しているといえます。 原因 : R1年度までの数年間は消費税増税前の需要増があったと見込まれますが、R2年度は例年並の水準に戻りました。 余地 : すでに目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。								

注釈:

■基本事業04 公営住宅の管理

								目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	公営住宅の入居率								【建設課】
	指標特性	上ると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	79%	77%	67%	65%				85%	
評価	状況 : 昨年度より2ポイント下がっています。 原因 : 市営住宅の老朽化や民間新築アパートの増加などの影響で、空き部屋が増加傾向にあると考えます。 余地 : 今後も老朽化等による影響で空き部屋が増加するものと考えられ、成果向上の余地は小さいと考えます。								

注釈:

政策06 にぎわいと活力あるまちづくり

施策01 農林業の振興

主管課 農林課

関係課 東市民生活課、農業委員会事務局

■ 施策の成果状況

目標達成度 達成							
成 果 指 標	認定農業者数 【農林課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	178人	185人	187人	187人			179人
評 価	状況：令和元年度と比べ、横ばいです。 原因：既存の認定農業者の更新のみで、新規の認定農業者がいませんでした。 余地：すでに目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。						

注釈：

■ 基本事業01 農業経営基盤の強化

目標達成度 基準値を下回る							
成 果 指 標	農用地利用集積面積 【農林課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	24,939a	24,977a	25,032a	24,810a			25,000a
評 価	状況：R元年度と比較して0.9%減少しました。 原因：新設小学校や道路建設等により農地面積が減少したものが大きな要因と考えられます。 余地：自己所有地は、減少していますが借入用地は増加しており、借入しやすい環境を作ることにより向上の余地はあります。						

注釈：

目標達成度 基準値を下回る							
成 果 指 標	新規就農者数 【農林課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	5人	3人	8人	1人			5人
評 価	状況：令和1年度と比較して7件減少しました。 原因：Uターンでの就農が減少したためと考えられます。 余地：産業としての農業の魅力が高まることで、新規就農者の増加の余地は高いです。						

注釈：

■基本事業02 農業生産基盤の整備

目標達成度						
成 果 指 標	農業水利施設等に関する苦情件数					
	【農林課】					
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)
評価	42件	30件	43件	41件		35件
評価	状況: R01年度と比較して2件減少しましたが、目標を下回っています。 原因: 長雨等による溢水が増え、また農業用水利施設の老朽化によるものと考えられます。 余地: 農業用水利施設の多くは老朽化が顕著であるため、長寿命化対策の推進により向上の余地はあります。					

注釈:

■基本事業03 持続可能な林業の振興

目標達成度						
成 果 指 標	林業事業体数					
	【農林課】					
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)
評価	12団体	10団体	10団体	10団体		15団体
評価	状況: R元年度と比較して増減はありませんでした。(数値はR2年度実態調査(群馬県調査)による) 原因: 林業を営むには山林所有者や森林組合との信頼関係はもとより、資材等の初期投資が必要になることから、新規参入を試みるには多くの障壁があるためです。 余地: 新規参入を検討している企業・団体に対し、相応の技術や資金について支援をすることで、数値が向上する見込みがあります。					

注釈: 数値はR2年度実態調査(群馬県調査)による

目標達成度						
成 果 指 標	新規林業従事者数					
	【農林課】					
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)
評価	2人	9人	4人	0人		3人
評価	状況: 新規就業者はありませんでした。 原因: 人材の交流に制限がかかるなか、情報交換や新規就業希望調査といった地道な活動ができなかったことによります。 余地: 地方就業への関心が高まり、都市中心の生活が見直されていますので、林業という業種をアピールすることで就業者数増加への余地は多くあります。					

注釈: 数値はR2年度実態調査(群馬県調査)による

■基本事業04 有害鳥獣による被害の軽減

目標達成度						
成 果 指 標	農産物等の被害額					
	【農林課】					
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)
評価	7,952万円	6,703万円	5,603万円	5,614万円		7,000万円
評価	状況: 農業被害額は8,154千円(R元)から7,226千円(R2)へ減少しました。イノシシ、ニホンザルの被害額は減少しているものの、ニホンジカ、カラス、ハクビシンの被害額は微増しています。一方、林業被害額は47,996千円(R元)から48,914千円(R2)へ増加しています。 原因: 農業被害額の減少については、サルの囲いわな設置による効果が表れているものと考察できます。また、令和元年から取り組んでいる獵期中の捕獲推進も功を奏しています。 余地: メンテナンスに手間がかかるくくり罠を積極的に導入することで、箱わなでは捕獲しにくいニホンジカの捕獲数増加が見込めます。ニホンジカの捕獲数が増えれば農業、林業の双方で被害額減少が期待できます。					

注釈:

政策06 にぎわいと活力あるまちづくり

施策02 商工業の振興

主管課 商工課

関係課 企画課、観光課

■ 施策の成果状況

							目標達成度	達成
成 果 指 標	年間商品販売高							【商工課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	931(平成26)	1,022(H28)	1,022(H28)	1,022(H28)			940億円	
評価	状況：平成28年6月に実施された経済センサス活動調査では、卸売業及び小売業の年間商品販売高は前回経済センサス結果より増額となっています。 原因：東京首都圏や大都市での景気回復の兆しが徐々に一部の地方にも波及していると考えられます。 余地：新型コロナウイルス感染症の拡大により、幅広い業種が影響を受けており、コロナ禍が収束するまでは向上の余地は厳しくなると予測されます。							

注釈:

							目標達成度	基準値を下回る
成 果 指 標	製造品出荷額							【商工課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	947(平成26)	848(平成28)	848(平成28)	848(平成28)			950億円	
評価	状況：平成28年6月に経済センサス活動調査（工業統計兼ねる）が実施され、平成26年調査時に比べ99億円減少となりました。 原因：平成27年3月に大規模な飼料工場が老朽化により廃止となり、産業分類「飲料・たばこ・飼料」の出荷額が減少し、指標値低下の主な要因となっています。 余地：市内製造業の追加投資などの持続的発展を支援するとともに、新たな企業の誘致を促進する必要があります。							

注釈:

							目標達成度	達成
成 果 指 標	法人市民税(法人税割)納税者数							【商工課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	462事業者	458事業者	465事業者	489事業者			470事業者	
評価	状況：令和元年度と比較して微増となっています。 原因：経営者の高齢化に伴う事業継承問題などで廃業する事業者がいる一方で、創業や市外からの進出などにより微増があることが考えられます。 余地：事業承継や経営改善など県内支援窓口の周知や創業支援の促進などが考えられるが向上の余地は小さいです。							

注釈:

■基本事業01 地域産業活性化の促進

							目標達成度	達成
成 果 指 標	創業支援事業を活用した創業者数							【商工課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	11人	12人	12人	20人				20人
評 価	状況：令和2年度の新規創業者は8人でした。 原因：問合せは年間数件あり、商工会を通じて特定創業支援等事業を受講する者も年々増えております。 余地：創業者への市の支援策が充実していないため、商工会や県産業支援機構等と連携し、セミナーなどを開催することが必要と考えます。							

注釈：

							目標達成度	低
成 果 指 標	起業家チャレンジ資金活用による開業者数							【商工課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	11事業所	12事業所	12事業所	12事業所				17事業所
評 価	状況：新規融資実行は0件で、指標値（累計）は変わりません。 原因：問い合わせは数件あるものの、要件が合わない等により融資実行されておりません。 余地：創業支援事業（相談事業）により新規融資の相談が見込まれます。							

注釈：

■基本事業02 商工業の経営基盤の支援

							目標達成度	低
成 果 指 標	事業所数(卸売業・小売業)							【商工課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	590(平成26)	—	584(平成28)	584(平成28)				590事業所
評 価	状況：平成28年6月に経済センサス活動調査が実施されました。 原因：長引く不況や経営者の高齢化に伴う事業継承問題などで廃業する事業者が増加したものと考えます。 余地：事業承継や経営改善など県内支援窓口の周知や創業支援を促進することが考えられますが、向上の余地は小さいです。							

注釈：

							目標達成度	低
成 果 指 標	事業所数(製造業)							【商工課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	450(平成26)	—	450(平成28)	450(平成28)				450事業所
評 価	状況：平成28年6月に経済センサス活動調査が実施されました。下記参考値（県工業統計）では前年比同数となっています。 原因：中期的に見れば、経営者の高齢化に伴う事業継承問題などで廃業する事業者が増加していると考えます。 余地：事業承継や経営改善など県内支援窓口の周知や創業支援を促進することが考えられますが向上の余地は小さいです 参考値：H28[183]H29[141]H30[140]R1[140]※公表年度							

注釈：目標値は経済センサスの数値だが4年に1度の調査のため中間年は工業統計調査の数値

成 果 指 標	商工会の会員数						
	【商工課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	1,402事業所	1,375事業所	1,352事業所	1,350事業所			1,430事業所

状況：令和元年度と比較して2件の減少となりました。
 原因：創業等による新規加入はあるものの、それ以上に後継者不足などの要因で廃業・退会に至るなどの減少が多いと考えられます。
 余地：創業支援や事業継承、国等の補助制度活用の支援などの経営支援事業を関係団体と連携し進めていくことで、今後成果向上の余地があると考えられます。

注釈：

成 果 指 標	市内の商店で日常の買い物をする市民の割合						
	【商工課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	86.7%	86.7%	88.7%	90.4%			90%

状況：令和元年度と比較して1.7ポイント増加しました。
 原因：市内に大型小売店舗も多く出店しており、買い物する場所は概ね充足していると思われますが、近所の商店を利用する市民が相対的に少ない状況です。
 余地：消費者の生活スタイルが多様化しており、大幅な増加は見込めないと考えられます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業03 雇用就労の支援

成 果 指 標	新規求人件数						
	【商工課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	7,757人	8,520人	8,795人	8,293人			7,900人

状況：令和元年度と比較して502人（約6.0%）減少しています。
 原因：新型コロナウイルス感染症の影響により、幅広い業種で雇用控えがあったものと考えられます。
 余地：新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、継続して企業の雇用控えが急速に進むことが予想されます。短期的には向上の余地は厳しいと予測されます。

注釈：ハローワーク桐生管内 新規求人件数(平成31年4月～令和2年3月)合計

成 果 指 標	勤労者向けの支援を活用している人数						
	【商工課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	360人	337人	309人	256人			360人

状況：令和元年度に比べ53人減少となりました。
 原因：中小企業の雇用者数は、全体として減少傾向にあることが推測されます。
 余地：年度末以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中小企業の雇用状況は厳しくなることが予想され、短期的には労働者数が向上する余地は少ないと思われます。

注釈：中小企業退職金共済制度加入者数及び勤労者資金融資実行人数

政策06 にぎわいと活力あるまちづくり

施策03 魅力ある観光地づくり

主管課 観光課

関係課 東市民生活課、施設管理室

■ 施策の成果状況

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	観光入込客数						
	【観光課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	259万人	241万人	233万人	141万人			300万人

評 価	状況：令和元年度に比較して39.5%減少し、成果は低下しています。 原因：コロナ禍による各施設の休館及びイベントの中止が相次ぎ、全体的に観光客数が減少したと考えられます。 余地：新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ニューノーマルに対応した観光誘客による成果向上に努めます。	目標達成度 基準値を下回る					
		【観光課】					

注釈：

■ 基本事業01 観光資源の発掘及び活用

目標達成度 達成

成 果 指 標	観光資源数						
	【観光課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	27件	31件	34件	34件			30件

評 価	状況：令和元年度と比較して同指標の横ばいです。 原因：企画の見直し等を行いグリーンだよを指標から外し、浅原体験村を追加したためです。 余地：今後も観光資源の開発等を行いますが、すでに目標値を達成しているため向上の余地は小さいです。	目標達成度 達成					
		【観光課】					

注釈：

■ 基本事業02 観光情報発信の強化

目標達成度 中

成 果 指 標	観光プロモーションビデオ視聴回数						
	【観光課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	0回	3,200回	1,291回	2,196回			5,000回

評 価	状況：令和元年度に比較して70.1%増加し、向上しています。 原因：新型コロナウイルス感染症拡大により都道府県をまたいだ移動をする機会が減少し、動画やホームページといったデジタル媒体を閲覧する機会が増加したためです。 余地：常に新しい動画がアップされる分野で競争も激しいため、成果向上の余地は少ないと考えられます。	目標達成度 中					
		【観光課】					

注釈：無料広告と有料広告の合計

成 果 指 標	観光PR件数						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	66件	79件	65件	54件			70件
評 価	状況：令和元年度と比較して16.9%減少し、低下しています。 原因：有料広告の掲載媒体を厳選・集約したことにより、件数としては減少しています。 余地：今後は広告以外の情報発信も強化していくため、成果向上の余地は小さいです。						

注釈:

成 果 指 標	大間々駅前観光案内所利用者数						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	23,478人	27,260人	19,890人	12,446人			25,000人
評 価	状況：令和元年度と比較して37.4%減少し、低下しています。 原因：主に、新型コロナウイルス感染症の影響により、関東菊花大会等の中止によるものと考えられます。 余地：新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しておりますが、コロナ禍の影響が見通せない状況ですので向上の余地は小さいです。						

注釈:

■ 基本事業03 魅力ある観光事業の推進

成 果 指 標	各種イベント開催時の観光客数						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	185,362人	227,600人	195,577人	5,000人			220,000人
評 価	状況：令和元年度と比較して190,577人減少し、低下しています。 原因：新型コロナウイルス感染症の影響により、カタクリさくらまつりのみの開催となったことによるものです。 余地：新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、コロナ禍の影響が見通せない状況ですので向上の余地は小さいです。						

注釈:

成 果 指 標	みどり市観光ガイドの会利用者数						
	【観光課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
評 価	5,103人	3,790人	4,336人	420人			6,000人

注釈:

■ 基本事業04 観光施設の充実

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	観光施設の維持管理上の不具合により、施設等が使用できない件数						
	【観光課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい	
評 価	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	0件	0件	0件	0件			0件

注釈:

政策07 市民と行政が協働してまちをつくる

施策01 市民活動の推進

主管課 企画課

関係課 総務課、大間々市民生活課、東市民生活課、社会福祉課

■ 施策の成果状況

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	行政と市民が協働してまちづくりを行っていると思う市民割合						
	【企画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	53.2%	49.1%	50.2%	50.0%			60%

評 価	状況：令和元年度と比べて0.2ポイント減少しています。 原因：地域活動の担い手の高齢化や固定化などが原因と考えられます。 余地：市民が様々な分野でまちづくり活動に取り組むことができる環境の整備や、気運の醸成につながる取り組みを行うことにより、成果の向上を図ります。						
	注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。						

■ 基本事業01 ボランティア・NPO活動の充実

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	ボランティア・NPO活動をしている市民割合						
	【企画課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	14.6%	11.8%	14.2%	11.7%			25%

評 価	状況：令和元年度から2.5ポイント減少しています。 原因：活動に参加した市民割合は減少しており、今後参加したいという回答も31.1%と前年度より3.4ポイント減少、興味や関心がないという回答も47.6%と前年度よりも高い状況です。 余地：市民活動に関する情報を広く周知し、市民が地域活動に参加しやすい環境の整備を行うことで、成果向上の余地があると考えられます。						
	注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。						

■ 基本事業02 行政区・自治会活動の充実

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	行政区活動に参加している市民の割合						
	【総務課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	30.4%	28.3%	29.4%	21.9%			35%

評 価	状況：R1年度と比較して7.5ポイント減少しました。 原因：新型コロナウイルス感染症の拡大により、お祭りや各種行事が相次いで中止になったことによるものと考えられます。 余地：引き続き行政区活動への支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の収束後に各種行事が再開されることで、成果が向上する余地はあるものと考えられます。						
	注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業03 市民協働への体制整備

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	ボランティア・NPO団体数							【企画課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	40団体	40団体	41団体	35団体			50団体		
評 価	状況：令和元年度から6団体減少しています。 原因：昨年度と比較して、県登録のNPO団体が2団体減少して12団体、社会福祉協議会登録のボランティア団体が4団体減少して23団体という状況です。 余地：市民活動の活性化を推進することにより、団体活動の維持や新規団体の設立が期待できるため、向上の余地はあると考えられます。								

注釈：

■ 基本事業04 國際交流の推進

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	外国人・外国文化と交流する機会を持った市民の割合							【企画課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	7.6%	9%	7.3%	7.2%			10%		
評 価	状況：令和元年度に比べて0.1ポイント減少しています。 原因：機会があれば交流したいという回答は43.9%と高く、市内在住外国人も、やや増加していますが、交流する機会が少ないためと考えられます。 余地：今後も国際交流の推進に努めることにより、さらなる成果向上の余地はあります。								

注釈： 指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

政策07 市民と行政が協働してまちをつくる

施策02 人権尊重の推進

主管課 企画課

関係課 市民課、社会福祉課、こども課、社会教育課

■ 施策の成果状況

目標達成度 **基準値を下回る**

成 果 指 標	この1年間で人権が侵害されたことがある市民割合						
	【企画課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	9.8%	13%	14.9%	13.4%			5%

評価

状況：令和元年度と比較して1.5ポイント減少しました。
原因：女性の人権やその他の人権を傷つけられたと感じている市民の割合が前年度より減少しましたが、高い状況であり、障害者の人権を傷つけられたと感じている市民の割合が増加しています。
余地：多岐にわたる人権侵害被害をなくすため、人権教育や啓発活動の取り組みを推進しており、継続して実施することにより向上の余地はあると考えられます。

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 人権教育・啓発の推進

目標達成度 **達成**

成 果 指 標	各種人権侵害措置件数						
	【社会福祉課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	0件	0件	0件	0件			0件

評価

状況：令和2年度の各種人権侵害措置件数は0件でした。
原因：各所管では、人権に関する様々な取組を実施しています。
余地：今後も各種人権侵害措置件数0件を維持できるよう取組を継続します。

注釈：

目標達成度 **(未設定)**

成 果 指 標	人権に関する相談件数						
	【社会教育課】						
	指標特性	その他			対前年度	---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	191件	185件	240件	198件			200件

評価

状況：01年度と比べ42件減少しています。
原因：家庭児童相談室の相談件数が減少したことが主な要因です。虐待や不登校の相談件数が前年より減少しています。
余地：引き続き、人権教育啓発を推進していくことにより、向上の余地はあります。

注釈：

■基本事業02 男女共同参画の推進

目標達成度 基準値を下回る

成 果 指 標	男女共同参画社会が実現していると思う市民の割合							【企画課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	低下			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	65.8%	62.9%	63.6%	55.6%			75%		
評 価	状況：令和元年度から8ポイント減少しています。 原因：「男女共同参画プラン」に基づいた啓発活動により市民の意識向上に努めてはおりますが、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と回答した割合が男女とも増加しており、女性の割合は男性の割合よりも高く、意識の差が依然として見られます。 余地：今後も男女共同参画に関する啓発活動を継続して実施することにより向上の余地はあります。								

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

政策07 市民と行政が協働してまちをつくる

施策03 開かれた市政の推進と効果的な情報発信

主管課 秘書課

関係課 総務課、企画課

■ 施策の成果状況

目標達成度 達成							
成 果 指 標	広報、広聴、情報公開によりみどり市が開かれた行政になっていると思う市民割合						
	【秘書課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	73.8%	76.7%	77.3%	77.3%			75%
評 価	状況：令和元年度と比較して増減なしの横ばいです。						
	原因：広報紙やホームページ、LINEなど様々な情報発信手段を活用し、市民等に対して情報を提供しており、また、広聴活動も複数の手法を用意しているため、高い指標値を維持できていると考えられます。						
	余地：今後も開かれた行政となるよう努めますが、目標値を達成しているため、向上の余地は少ないと思われます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 広報活動の充実

目標達成度 達成							
成 果 指 標	市からの情報の質・量が十分であると思う市民の割合						
	【秘書課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	78.5%	89%	90.4%	89.4%			85%
評 価	状況：令和元年度と比較して1ポイント低下していますが、目標値より高いため、順調に推移しているといえます。						
	原因：広報紙や市ホームページ、SNSを活用し、情報発信に努めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、更なるスピード感や確かな情報が求められ、満足度が減少したと考えられます。						
	余地：今後も市からの情報の質や量の向上に努めますが、目標値を達成しているため、向上の余地は小さいと思われます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

目標達成度 基準値を下回る							
成 果 指 標	広報みどりを読んでいる市民の割合						
	【秘書課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	低下
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	91%	90.3%	92.6%	87.3%			93%
評 価	状況：令和元年度と比較し5.3ポイント減少し、低下しました。						
	原因：新型コロナウイルス感染症の影響により、行事やイベントが中止となり、表紙写真や記事内容がやや単調となつたことが原因と考えられます。						
	余地：広報紙は全戸配布しているため、成果向上の余地はあると考えます。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業02 広聴活動の充実

							目標達成度	達成	
成 果 指 標	市が行う広聴活動に満足している市民の割合							【秘書課】	
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	74.4%	80.6%	77.3%	76.8%			75%		
評 価	状況：令和元年度と比較して0.5ポイント低下しましたが、ほぼ横ばいです。 原因：広聴方法を複数用意していることにより、市民は利用しやすい方法を選択して意見が届けられるため、満足度が高いと考えられます。 余地：今後も市民が市に対して意見を届けやすい広聴活動に努めますが、すでに目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。								

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

							目標達成度	(未設定)	
成 果 指 標	広聴活動による意見数							【秘書課】	
	指標特性	その他			対前年度	---			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	105件	123件	135件	214件			110件		
評 価	状況：令和元年度と比較して79件増加し、順調に推移しています。 原因：新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による「市長と未来トーク」の利用はありませんでしたが、その代わりにメールによる「市長への手紙」の利用件数が飛躍的に増加したことが増加の原因と考えられます。 余地：今後も市民の意見や要望などの声を聞き、市政への反映に努めますが、目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。								

注釈：

■ 基本事業03 行政情報の適正な管理

							目標達成度	達成	
成 果 指 標	個人情報 漏えい件数							【総務課】	
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	0件	0件	0件	0件			0件		
評 価	状況：0件で、順調に推移しています。 原因：個人情報の漏えいはあってはならず、厳格に取り扱っていることが原因と考えられます。 余地：目標値を達成しているため、向上の余地は少ないです。								

注釈：

							目標達成度	達成	
成 果 指 標	公開・非公開の不服申立てで情報公開が決定した件数							【総務課】	
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい			
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	0件	0件	0件	0件			0件		
評 価	状況：公開・非公開の不服申立ては0件で推移しています。 原因：公開・非公開に対する市民の不服がなく、一定程度の理解が得られていることが原因と考えられます。 余地：不服申立ての案件がないため、向上の余地は少ないです。								

注釈：

政策08 自立した都市経営を実現する

施策01 健全な行政運営

主管課 企画課

関係課 総務課、秘書課、財政課、大間々市民生活課、東市民生活課、市民課、教育総務課、議会事務局、監査委員事

■ 施策の成果状況

目標達成度 中							
成 果 指 標	市の行政運営が健全に行われていると思う市民の割合						
	【企画課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	69.1%	74.1%	74.5%	76.5%			80%
評 価	状況：前年度に対し2.0ポイント向上し、めざそう値に対しての達成率は約68%です。 原因：男女別では男性71.3%、女性73.4%、年齢別では10～20代で87.0%、30歳代後半で68.3%、40歳代後半で67.7%、75歳以上で70.4%となっておりました。若い世代や高齢者から健全との意見が多くなっています。 余地：多様化・複雑化する市民ニーズ、社会の変化に適切に対応し評価の向上を目指します。						

注釈：指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業01 適正な事務執行と効果的な行政運営の推進

目標達成度 達成							
成 果 指 標	行政事務の執行において市民に支障があった件数						
	【総務課】						
	指標特性		下がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	3件	1件	0件	0件			0件
評 価	状況：市民に支障のある法令違反等はありませんでした。 原因：定期的かつ軽微な事故等が報告されたタイミングで職員に注意喚起を行うことで、気の緩みを防いでいます。 余地：新型コロナウイルス感染症対策等による職員の業務負担が増大し職員のストレスや疲労が蓄積されていることを鑑み、引き続きインストラ掲示板等で注意喚起をすることで現状維持を目指しますが、目標を達成していることから向上の余地は小さいです。						

注釈：

目標達成度 中							
成 果 指 標	施策・基本事業の成果指標がめざそう値(目標値)を達成している割合						
	【企画課】						
	指標特性		上がると良い指標			対前年度	横ばい
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	15.2%	33.8%	37.4%	37.1%			60%
評 価	状況：「その他の指標」及び新型コロナウイルス感染症の影響により取得不能であった1指標を除く成果指標の達成率は次のとおりで、前年度より1指標、0.3ポイント低下しました。 施策…38指標のうち17指標で目標達成 基本事業…159指標のうち56指標で目標達成 合計…197指標のうち73指標で目標達成 原因：施策は新たに2項目で目標を達成、基本事業は9項目で新たに目標を達成しましたが、前年度に目標を達成していた施策で2項目、基本事業で9項目の指標値が低下、1項目は感染症の影響により指標が取得不能であったことにより、差し引き1項目の指標が悪化したことによるものです。 余地：指標の達成度は低い状況ですが、目標値を達成した指標を維持することおよび成果の向上していない施策を中心に事業を見直すことで成果向上の余地はあるものと考えます。						

注釈：

■ 基本事業02 職員の人材育成の推進

							目標達成度	達成
成 果 指 標	能力・行動評価シートの着眼点を意識した人材育成が行われていると思う職員の割合							【総務課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	41.3%	52.7%	50%	60.7%				60%
評 価	状況：R1年度と比較して10.7%（ポイント）増加しました。 原因：組織マネジメントの向上を図るための職員研修の実施や、OJTの重要性を説明するなどの取組を継続して行ってきた結果として、職員の中に人材育成についての意識が醸成されたものと考えます。 余地：業績評価の導入に伴い、より客観的な評価結果が得られるため、さらに成果は向上すると考えます。							

注釈：

■ 基本事業03 窓口サービスの向上

							目標達成度	高
成 果 指 標	窓口サービスに関する市民満足度							【市民課】
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	95.2%	95%	95.6%	95.8%				96%
評 価	状況：前年度と比較し0.2ポイント向上しましたが、ほぼ横ばいです。 原因：現状で既に高評価を受けており、過去3年間においても、ほぼ横ばいの状況です。 余地：今後もより一層の市民サービスに努めますが、達成度は高く大幅な向上の余地は少ないです。							

注釈： 指標は「まちづくり市民アンケート」の結果による。

■ 基本事業04 ICTによる情報の適切な管理と利活用

							目標達成度	達成
成 果 指 標	市民に影響した各システム・ネットワークのトラブル発生件数							【企画課】
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい		
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	
	0件	1件	0件	0件				0件
評 価	状況：R01年度と比較し、横ばいで順調に推移しています。 原因：市民に影響するようなトラブルの発生を抑制できたことが要因です。 余地：システム保守事業者等と連携し、現状維持できるよう努めます。							

注釈：

目標達成度

達成

成 果 指 標	情報漏洩等インシデント発生件数						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	0件	0件	0件	0件			0件
評 価	状況：R01年度と比較し、横ばいで順調に推移しています。 原因：人的な対策及び技術的な対策を適切に実施することで、高水準のセキュリティを維持することができたためと考えられます。 余地：今後も情報漏えい等の事故が発生しないよう行政運営上重要な情報資産を様々な脅威（災害、事故、不正行為による破壊や漏えいなど）から防御することに努めますが、すでに目標値を達成しているため、向上の余地は小さいです。						

注釈：

■ 基本事業05 庁舎等の有効活用

目標達成度

基準値を下回る

成 果 指 標	庁舎等の設備の不具合件数						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	0件	0件	0件	2件			0件
評 価	状況：庁舎外線電話の不通による不具合の発生がありました。 原因：笠懸庁舎に設置されていた電話設備（転送ゲートウェイ）が何らかの異常をきたしていました。 余地：不具合の発生を無くすことで、成果向上の余地があります。						

注釈：

■ 基本事業06 広域連携の推進

目標達成度

高

成 果 指 標	近隣自治体等との連携により実施した延べ事業数						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	向上	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	44事業	53事業	53事業	57事業			60事業
評 価	状況：令和元年度より4事業増加しています。 原因：両毛広域事業や、桐生大学及び新田みどり農業協同組合との連携事業が順調に推移しているためです。 余地：今後も、近隣自治体や連携協定締結団体との新たな連携事業を検討しますが、向上の余地は小さいものと考えます。						

注釈：

政策08 自立した都市経営を実現する

施策02 持続可能な財政運営

主管課 財政課

関係課 税務課、納税課、会計局

■ 施策の成果状況

								目標達成度	達成
成 果 指 標	実質赤字比率								【財政課】
	指標特性		下がると良い指標			対前年度		---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	健全	健全	健全	健全			健全		
評価	状況：当該比率には該当しません。 原因：一般会計の年間収支が「黒字」であるためです。 余地：すでに目標値を達成しているため、向上の余地は少ないです。								

注釈：

								目標達成度	達成
成 果 指 標	連結実質赤字比率								【財政課】
	指標特性		下がると良い指標			対前年度		---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	健全	健全	健全	健全			健全		
評価	状況：当該比率には該当しません。 原因：市のすべての会計収支が「黒字」であるためです。 余地：すでに目標値を達成しているため、向上の余地は少ないです。								

注釈：

								目標達成度	達成
成 果 指 標	実質公債費比率								【財政課】
	指標特性		下がると良い指標			対前年度		横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	4%	3.8%	3.7%	3.7%				7.5%	
評価	状況：前年度から増減なしとなります。 原因：元利償還金が増加したものの、標準財政規模の増加が元利償還金の増加を上回ったことなどによるものです。 余地：すでに目標値を達成しているため、向上の余地は少ないです。								

注釈：

								目標達成度	達成
成 果 指 標	将来負担比率								【財政課】
	指標特性		下がると良い指標			対前年度		---	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)		
	健全	健全	健全	健全			健全		
評価	状況：当該比率には該当しません。 原因：将来背負わなければならない実質的な負債の総額が、返済に充てることができる基金等の預金残高を下回ったことなどによるものです。 余地：すでに目標値を達成しているため、向上の余地は少ないです。								

注釈：

■ 基本事業01 財源の確保

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	市税の収納率						
	【納税課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	95.7%	96.9%	97%	97.3%			97%
評 価	状況：市税の収納率は概ね横ばいで推移しています。 原因：納税相談と適正な処分執行に継続して取り組んできたことで市税の収納率は微増が続いています。 余地：夜間電話催告や休日臨戸訪問などの取り組みにより収納率の向上を図っています。						

注釈：

■ 基本事業02 計画的な財政運営

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	市債残高						
	【財政課】						
	指標特性	下がると良い指標			対前年度	低下	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	13,920百万円	14,020百万円	14,418百万円	15,847百万円			16,783百万円
評 価	状況：前年度より市債残高が14億3,000万円増額となりました。 原因：令和2年度は、新設小学校建設費や指定避難所環境整備、保育所等環境整備補助などを行い、総額で33億5,970万円の借入を行ったためです。 余地：現状では目標値を下回る残高を維持できておりますが、新設小学校の継続工事や都市公園等整備事業、かたくりの湯などにより市債発行額の増額が見込まれるため、成果向上の余地は小さいです。						

注釈：

成 果 指 標	目標達成度 達成						
	基金残高						
	【財政課】						
	指標特性	上がると良い指標			対前年度	横ばい	
	基準値 (H28)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)
	11,935百万円	11,155百万円	10,619百万円	10,493百万円			10,435百万円
評 価	状況：前年度より基金残高が1億2,600万円減少しました。 原因：合併算定替えによる国からの普通交付税の減少などに加え、扶助費の増加や新設小学校建設などの投資的な事業を行ったことにより、財政調整基金及び義務教育施設整備基金を取崩したためです。 余地：現状では目標値を若干上回る基金残高を確保しておりますが、新市建設計画に位置付ける事業や個別施設計画事業の財源が必要となるため、成果向上の余地は小さいです。						

注釈：

施策及び基本事業の成果の各表に記載された用語の意味は次のとおりです。

用語	内容
基準値（H28）	第2次みどり市総合計画策定時に基準とした指標値（前期基本計画では平成28年度）
実績値（各年）	各年度の実績数値
目標値（R04）	第2次みどり市総合計画の前期基本計画の最終年度（令和4年度）における目標値（めざそう値）
指標特性 上がると良い指標	「市税の収納率」や「子育てしやすいまち（環境）だと思う保護者の割合」など数値を向上させることを目標とする指標
指標特性 下がると良い指標	「待機児童数」や「交通事故発生件数」など数値を低下させることを目標とする指標
指標特性 その他	「福祉医療受給資格者数」など社会情勢等の変化による影響が指標値の増減に大きく影響すると考えられ、数値の向上や低下を目標としない指標。
対前年度	評価年度の指標値の増減に応じ次のとおり記載 「向上」=対前年5%以上の向上 「横ばい」=対前年±5%未満の向上・低下 「低下」=対前年5%以上の低下 「——」=「その他の指標」や数値での比較が困難な指標

4. 第2次みどり市総合計画〈前期基本計画〉の体系

政策	施 策		基本事業	
1 健やかに生きる安心のまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくりの推進	1 成人保健の充実	
			2 母子保健の充実	
			3 地域医療の充実	
	2 地域福祉の充実	2 地域福祉の充実	1 地域福祉意識の醸成と担い手支援	
			2 地域福祉活動の活発化	
	3 高齢者福祉の充実	3 高齢者福祉の充実	1 総合的な介護予防体制の充実	
			2 自立した生活の支援体制の充実	
			3 社会参加と生きがい活動の推進	
			4 地域に根ざした介護体制の確立	
			5 健全・公平な介護保険事業の運営	
2 人を育て文化をはぐくむまちづくり	4 障がい者福祉の充実	4 障がい者福祉の充実	1 障がい者福祉サービスの充実	
			2 児童発達支援サービスの充実	
			1 保育サービスと施設の充実	
	5 子育て支援の充実	5 子育て支援の充実	2 子育てに関する不安の軽減	
			3 地域における子育て支援の充実	
			1 国民健康保険制度の安定運営	
	6 社会保障制度による生活支援	6 社会保障制度による生活支援	2 後期高齢者医療の健全化	
			3 福祉医療の充実	
			4 生活困窮者への自立支援	
			5 生活保護と自立支援	
			1 生涯学習と文化芸術鑑賞の機会づくり	
3 安全で安心して生活できるまちづくり	1 生涯学習の推進	1 生涯学習の推進	2 主題的な学習の推進	
			3 生涯学習を支える体制や場の提供	
			4 学習情報の提供と学習相談の充実	
	2 教育の充実	2 教育の充実	1 幼児教育の充実	
			2 確かな学力の向上	
			3 豊かな心の育成	
			4 健やかな体の育成	
			5 教職員の資質向上	
			6 教育環境の整備と充実	
	3 文化財の保護と活用	3 文化財の保護と活用	1 文化財の保護	
			2 文化財の活用	
			3 博物館・展示施設の適正管理	
	4 市民スポーツの充実	4 市民スポーツの充実	1 スポーツ活動の場づくり	
			2 スポーツ活動の推進	
			3 スポーツ活動の支援	
3 安全で安心して生活できるまちづくり	1 生活環境の向上	1 生活環境の向上	1 ごみの減量化・資源化の推進	
			2 ごみの適切な運搬処理	
			3 生活公害・産業公害対策の推進	
			4 し尿・浄化槽汚泥の適切な運搬処理	
	2 自然環境の保全	2 自然環境の保全	1 地球温暖化防止の推進	
			2 自然資源の保全	
			3 放射線対策の推進	
	3 安全な暮らしの推進	3 安全な暮らしの推進	1 交通安全対策の推進	
			2 防犯活動の推進	
			3 消費生活の安定	
			4 青少年の健全育成の推進	
	4 防災・減災対策の推進	4 防災・減災対策の推進	1 防災意識の向上	
			2 地域防災力の充実	
			3 災害情報の充実	
			4 災害時避難体制の整備	
			5 消防・救急体制の充実	

政策		施 策		基本事業		
4	潤まいある快適なまちづくり	1	水道水の安定供給と汚水処理の推進 公共交通の充実	1	簡易水道等による水道水の安定供給	
				2	公共下水道の整備	
		2		3	管渠・処理施設の維持管理	
				4	合併処理浄化槽の設置推進	
		1		1	生活交通の充実	
				2	鉄道利用環境の向上	
5	あ質の高いまちづくりの利便性	1	特色あるまちづくりの推進	1	秩序ある土地利用の推進	
				2	緑地空間づくりの推進	
		2	道路の整備と浸水対策の推進	1	市道・橋梁の整備の推進	
				2	市道・橋梁の維持管理	
				3	道路冠水・浸水対策の推進	
		3	住宅・土地の利活用促進	1	良好な住宅環境	
				2	遊休資産の活用	
				3	民間開発の適正指導	
				4	公営住宅の管理	
6	にぎわいとまちづくりの活力あるまちづくり	1	農林業の振興	1	農業経営基盤の強化	
				2	農業生産基盤の整備	
				3	持続可能な林業の振興	
				4	有害鳥獣による被害の軽減	
		2	商工業の振興	1	地域産業活性化の促進	
				2	商工業の経営基盤の支援	
				3	雇用就労の支援	
		3	魅力ある観光地づくり	1	観光資源の発掘及び活用	
				2	観光情報発信の強化	
				3	魅力ある観光事業の推進	
				4	観光施設の充実	
7	市民と行政がく協働してまちをつくる	1	市民活動の推進	1	ボランティア・NPO活動の充実	
				2	行政区・自治会活動の充実	
				3	市民協働への体制整備	
				4	国際交流の推進	
		2	人権尊重の推進	1	人権教育・啓発の推進	
				2	男女共同参画の推進	
		3	開かれた市政の推進と効果的な情報発信	1	広報活動の充実	
				2	広聴活動の充実	
				3	行政情報の適正な管理	
8	自立した都市経営を実現する	1	健全な行政運営	1	適正な事務執行と効果的な行政運営の推進	
				2	職員の人才培养の推進	
				3	窓口サービスの向上	
				4	ICTによる情報の適切な管理と利活用	
				5	庁舎等の有効活用	
				6	広域連携の推進	
		2	持続可能な財政運営	1	財源の確保	
				2	計画的な財政運営	